

(案)

通知対象（S D S） 新規候補物質

平成 27 年 3 月 1 9 日

厚生労働省 安全衛生部
化 学 物 質 対 策 課

- ※1 本資料には、日本産業衛生学会が許容濃度を勧告している化学物質又はACGIHが、1998年以降にTLV-TWA（予告値を除く）を勧告している化学物質であって、安衛令別表第9の対象物質又は製造・使用等禁止物質に該当しないものを示している。
- 2 化合物、塩類等として化学物質のグループに対して許容濃度等が勧告されている場合については、原典に例としてCAS No.が示されてある場合はその物質について、示されていない場合はモデルSDSの作成されている物質について示した。
- 3 物理的性質、R-phrases、S-phrases等で、Chemical BookとあるのはChemicalBook Inc.のサイトを参照したものである。

目次

1 通知対象（SDS） 新規候補物質	- 6 -
（1） 1-ブロモプロパン	- 6 -
（2） 3-ブロモ-1-プロペン（別名臭化アリル）	- 7 -
（3） ブテン（全異性体）	- 8 -
ア ブテン	- 8 -
イ 2-ブテン	- 9 -
ウ 1-ブテン	- 10 -
エ イソブチレン	- 11 -
（4） テトラヒドロメチル無水フタル酸	- 12 -
（5） エチレングリコールモノブチルエーテルアセタート	- 13 -
（6） ジエチレングリコールモノブチルエーテル	- 14 -
（7） プロペン	- 15 -
（8） ヘキサフルオロプロピレン	- 16 -
（9） プロピオンアルデヒド	- 17 -
（10） アセチルアセトン	- 18 -
（11） 1-クロロ-2-プロパノールおよび 2-クロロ-1-プロパノール	- 19 -
ア 1-クロロ-2-プロパノール	- 19 -
イ 2-クロロプロパン-1-オール	- 20 -
（12） テルブホス	- 21 -
（13） 酸化マグネシウム	- 22 -
（14） ホウ酸塩（無機化合物）（※ ほう酸ナトリウムは通知対象物）	- 23 -

ア	ホウ酸	- 23 -
イ	七酸化二ナトリウム四ホウ素五水和物	- 24 -
(15)	滑石	- 25 -
(16)	3, 3, 4, 4, 5, 5, 6, 6, 6-ノナフルオロ-1-ヘキセン	- 26 -
(17)	ペルフルオロオクタン酸	- 27 -
(18)	N, N-ジエチルヒドロキシルアミン	- 28 -
(19)	ジアセチル	- 29 -
(20)	硫化カルボニル	- 30 -
(21)	ジメチル=2, 2, 2-トリクロロ-1-ヒドロキシエチルホスホナート（別名トリクロルホン又はDEP）	- 31 -
(22)	亜硝酸イソブチル	- 32 -
(23)	0-3-クロロ-4-メチルクマリン-7-イル 0, 0-ジエチルホスホロチオアート	- 33 -
(24)	ポルトランドセメント	- 34 -
(25)	アルミニウム（金属）及び不溶性化合物	- 35 -
ア	アルミニウム（金属）	- 35 -
イ	ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム	- 36 -
ウ	三フッ化アルミニウム	- 37 -
エ	水素化ビス（2-メトキシエトキシ）アルミニウムナトリウム	- 38 -
(26)	エチレン	- 39 -
(27)	沃土及び沃化物（※ 沃土は既通知対象物質）	- 40 -
ア	ヨウ化カリウム	- 40 -
イ	ヨウ化銀（I）	- 41 -
ウ	ヨウ化水素	- 42 -
(28)	硫酸カルシウム	- 43 -

ア 硫酸カルシウム	- 43 -
イ 硫酸カルシウム (1/2 水和物)	- 44 -
ウ 硫酸カルシウム (2 水和物)	- 45 -
エ 硫酸カルシウム (2 水和物)	- 46 -
(29) クロロ酢酸	- 47 -
(30) ジクロロ酢酸	- 48 -
(31) アスファルト	- 49 -
(32) N-ビニル-2-ピロリドン	- 50 -
(33) ポリ塩化ビニル	- 51 -
(34) 1-メチルナフタレン及び2-メチルナフタレン	- 52 -
ア 1-メチルナフタレン	- 52 -
イ 2-メチルナフタレン	- 53 -
(35) t-アミルメチルエーテル	- 54 -
(36) 2-メチル-5-ニトロアニリン	- 55 -
(37) 綿じん (未処理原綿)	- 56 -
2 参考情報	- 57 -
(1) ACGIH TLV-TWA 注釈	- 57 -
(2) 各機関の発がん評価等の区分	- 58 -
(3) 国連番号のクラス一覧 等級一覧	- 59 -
(4) R-phrases	- 60 -
(5) S-phrases	- 65 -

1 通知対象（SDS） 新規候補物質

（1）1-ブロモプロパン

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	1-ブロモプロパン【臭化プロピル】	TLV-TWA (10ppm) ACGIH / 2003 / 予告値 許容濃度 0.5ppm / 2.5mg/m ³ 産衛学会 / 2012	急性毒性(吸入:蒸気) 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） 特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） (以上モデル SDS)	区分 4 区分 2 区分 2 区分 3（気道刺激性、麻酔作用） 区分 1（中枢神経系）	・ 国連危険物分類 Class or Division / 3 ・ NTP 発癌性物質報告書（2014（13）） / R ・ REACH：高懸念物質（SVHC）生殖毒性 ・ OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	1-bromopropane				
化学式	C ₃ H ₇ Br				
CAS No.	106-94-5				
物理化学的性質	形状 液体 色 無色 臭い データなし（※） pH データなし 融点 -110℃ 沸点 71.0℃ 蒸気圧 13.3kPa (以上モデル SDS) ※ 強い臭いを有する				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等		備考
・ 医薬・農薬原料（モデル SDS） ・ 脂肪、ワックス、または樹脂の溶媒。医薬品、殺虫剤、香料および芳香剤の合成。金属および電子部品の洗浄。エアゾールや接着剤の溶媒（国立医薬品食品衛生研究所）		化審法 / 2012 年度 4,000 - <5,000【t】	・ 危険物・引火性の物 ・ 平成 25 年 9 月 19 日 基安化発 0919 第 1 号「1-ブロモプロパンによる労働災害防止について」を発出 ・ 変異原性試験結果 ・ 微生物を用いる変異原性[陰] ・ 染色体[データなし]		化審法 ・ （旧）第 2 種監視化学物質（通し番号 979） P R T R 法 ・ 第 1 種指定化学物質（政令番号：1-384） ・ 1-ブロモプロパン 大気汚染防止法 ・ 有害大気汚染物質（中環審第 9 次答申の 200） ・ 揮発性有機化合物 労規則別表 1 の 2 に基づく告示（平 8 労告 33 号） ・ 末梢神経障害（医薬・農薬原料）

(2) 3-ブロモ-1-プロペン (別名臭化アリル)

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	3-ブロモ-1-プロペン【アリルブロマイド又は臭化アリル】	TLV-TWA 0.1ppm【Skin:A4】 ACGIH / 2011 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	急性毒性（経口） 急性毒性（吸入：蒸気） 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） （以上モデル SDS）	区分 3 区分 3 区分 1 A－ 1 C 区分 1 区分 3（気道刺激性）	・ 国連危険物分類 Class or Division / 3
英名	3-Bromo-1-propene【Allyl bromide】				
化学式	C ₃ H ₅ Br				
CAS No.	106-95-6				
物理化学的性質	形状 液体 色 無色透明 臭い データなし（※） pH データなし 融点 −119℃ 沸点 71℃ 蒸気圧 142mmHg （以上モデル SDS） ※ 芳香を有する				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等		備考
・ 有機合成原料（モデル SDS）		PRTR 法 第二種指定化学物質総括表：製造・輸入量区分（2014 年 12 月時点） 10【t/Y】（オーダー）	・ 危険物・引火性の物 ・ 変異原性試験結果 ・ 変異原性が認められた既存化学物質		P R T R 法 ・ 第 2 種指定化学物質（政令番号：2-81） ・ 三ーブロモーープロペン（別名臭化アリル） 海洋汚染防止法 ・ 個品運送 P

(3) ブテン (全異性体)

ア ブテン

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類 (健康に対する有害性)	その他の有害性情報等
和名【別名】	ブテン【ブチレン】	TLV-TWA (※) 250ppm ACGIH / 2007 / 正式値 許容濃度 (産衛学会) なし ※ ブテン (全異性体) として	データなし (モデル SDS 未作成)	- 国連危険物分類 Class or Division / 2.1 - OECD : 高生産量化学物質 (HPV) - CLP 分類 (GHS) は、Health hazards の全項目について「conclusive but not sufficient for classification」とされている。
英名	Butene【Butylene】		以下参考情報	
化学式	C ₄ H ₈		国際化学物質安全性カード : データなし R-phrases・S-phrases : データなし	
CAS No.	25167-67-3 (※備考欄参照)		※ Chemical Book には「May act as an asphyxiant or slight anesthetic at high vapor concentrations. Vapor concentrations are not usually a hazard at room temperature except in enclosed spaces.」との記述がある。 ※ NGL SUPPLY CO.LTD.製の SDS (60~100%) には、以下の記述がある。 Eye : Not a normal route of exposure. May cause frostbite burns to the eyes. Skin : Not a normal route of exposure. May cause frostbite burns to the skin. Ingestion : Not a normal route of exposure. Inhalation : May cause respiratory tract irritation. Excessive inhalation may cause central nervous system effects (headache, dizziness, tremors, loss of consciousness). May cause asphyxiation.	
物理化学的性質	形状 データなし 色 データなし 臭い データなし pH データなし 融点 -185.34℃ 沸点 -6.26℃ 蒸気圧 2025mmHg (以上 NITE 化学物質総合情報提供システム)			
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考
・ スチレン・ブタジエンゴム原料, ブタジエンゴム原料 (化学工業日報社)		化審法 / 2012 年度 900,000 - <1,000,000【t】	・ 危険物・可燃性のガス	※ CAS の一般向けウェブリソースである Common Chemistry で検索すると、No CAS Registry Number と出力される。

イ 2-ブテン

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	2-ブテン【β-ブチレン】	TLV-TWA（※） 250ppm ACGIH / 2007 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ ブテン（全異性体） として	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） （以上モデル SDS）	区分 3（麻酔作用）	- 国連危険物分類 Class or Division / 2.1 - OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	2-Butene【β-Butylene】				
化学式	C ₄ H ₈				
CAS No.	107-01-7 混合物 590-18-1 <i>cis</i> 624-64-6 <i>trans</i>				
物理化学的性質	形状 気体 色 データなし 臭い かすかな芳香 pH データなし 融点 -139.3℃ <i>cis</i> 融点 -105.8℃ <i>trans</i> 沸点 3.7℃ <i>cis</i> 沸点 0.9℃ <i>trans</i> 蒸気圧 1,410mmHg <i>cis</i> 蒸気圧 1,592mmHg <i>trans</i> （以上モデル SDS）				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等		備考
・ sec-ブチルアルコール・ブタジエン原料，燃料（液化石油ガス成分）（モデル SDS）		化審法 / 2012 年度 900,000 - <1,000,000【t】	- 危険物・可燃性のガス - 変異原性試験結果 - 微生物を用いる変異原性[陰] - 染色体[データなし]		※ モデル SDS の CAS No. は 107-01-7

ウ 1-ブテン

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	1-ブテン【 α -ブチレン】	TLV-TWA（※） 250ppm ACGIH / 2007 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ ブテン（全異性体）として	特定標的臓器・全身毒性（単 回ばく露） （以上モデル SDS）	区分 3（麻酔作用）	- 国連危険物分類 Class or Division / 2.1 - OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	1-Butene【 α -Butylene】				
化学式	C ₄ H ₈				
CAS No.	106-98-9				
物理化学的性質	形状 気体 色 無色 臭い 無臭 pH データなし 融点 -185.34 沸点 -6.26℃ 蒸気圧 1,986mmHg （以上モデル SDS）				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等		備考
- ポリブテン、LLDPE 等、ポリオレフィンの原料、ブタノール等の原料（モデル SDS） - sec-ブチルアルコール・ブタジエン原料，燃料（液化石油ガス成分）（化学工業日報社）		化審法 / 2012 年度 900,000 - <1,000,000【t】	- 危険物・可燃性のガス - 変異原性試験結果 - 微生物を用いる変異原性[陰] - 染色体[データなし]		

エ イソブチレン

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	イソブチレン【2-メチルプロペン又はイソブテン】	TLV-TWA（※） 250ppm【A4】 ACGIH / 2007 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ ブテン（全異性体） として	特定標的臓器・全身毒性（単 回ばく露） （以上モデル SDS）	区分 3（麻酔作用）	- 国連危険物分類 Class or Division / 2.1 - OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	Isobutylene【Isobutene】				
化学式	C ₄ H ₈				
CAS No.	115-11-7				
物理化学的性質	形状 気体 色 データなし 臭い データなし pH データなし 融点 -139℃ 沸点 -6.6℃ 蒸気圧 2,310mmHg （以上モデル SDS）				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等		備考
- ブチルラバー用の単量体、ポリイソブチレン、イソブチレン-スチレン共重合樹脂、イソブチレン-無水マレイン酸共重合樹脂、潤滑剤用低重合油等に用いるモノマー、直接酸化法によるメタクリル酸メチル合成原料、高オクタン価ガソリン用添加物の t-ブチルメチルエーテル原料（モデル SDS） - 合成樹脂・ブチルゴム原料，アルキル化剤（化学工業日報社）		化審法 / 2012 年度 900,000 - <1,000,000【t】	- 危険物・可燃性のガス - 変異原性試験結果 - 微生物を用いる変異原性[陰] - 染色体[データなし]		

(4) テトラヒドロメチル無水フタル酸

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	テトラヒドロメチル無水フタル酸【メチルテトラヒドロイソベンゾフラン-1,3-ジオン】	TLV-TWA なし 許容濃度 0.007ppm / 0.05mg/m ³ 0.015ppm / 0.1mg/m ³ （※） 【感受性（気道） 1】 産衛学会 / 2002 ※ 最大許容濃度．常時この濃度以下に保つこと．	急性毒性（経口） 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 呼吸器感受性 皮膚感受性 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） （以上モデル SDS）	区分 4 区分 2 区分 2 A 区分 1 区分 1 区分 3（麻酔作用 気道刺激性）	・ OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	Tetrahydromethylphtalicanhydride 【Methyltetrahydroisobenzofuran-1,3-dione】				
化学式	C ₉ H ₁₀ O ₃				
CAS No.	11070-44-3				
物理化学的性質	形状 液体 色 データなし 臭い データなし pH データなし 融点 −38℃ 沸点 150℃ 蒸気圧 10.1mmHg (以上モデル SDS)				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考	
・ 不飽和ポリエステル樹脂、アルキド樹脂の原料（モデル SDS） ・ 不飽和ポリエステル樹脂・アルキド樹脂原料，エポキシ樹脂硬化剤（N I T E 初期リスク評価書）		化審法 / 2012 年度 7,000 - <8,000【t】 PRTR 法 第一種指定化学物質総括表：製造・輸入量区分（2014 年 12 月時点） 1000 【t/Y】（オーダー）		化審法 ・ （旧）第 2 種監視化学物質（通し番号 1085） P R T R 法 ・ 第 1 種指定化学物質（政令番号 1-265） ・ テトラヒドロメチル無水フタル酸 大気汚染防止法 ・ 有害大気汚染物質（中環審第 9 次答申の 124）	

(5) エチレングリコールモノブチルエーテルアセタート

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	エチレングリコールモノブチルエーテルアセタート【2-ブトキシエチルアセタート又は EGBEA】	TLV-TWA 20ppm【A3】 ACGIH / 2000 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	急性毒性（経皮） 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） 〃 特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） （以上モデル SDS）	区分 4 区分 1（中枢神経系 血液全身毒性） 区分 2（腎臓） 区分 2（血液 腎臓）	・ OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	Ethylene glycol monobutyl ether acetate 【2-Butoxyethyl acetate】				
化学式	C ₈ H ₁₆ O ₃				
CAS No.	112-07-2				
物理化学的性質	形状 液体 色 無色 臭い 特有の臭気 pH データなし 融点 −63℃ 沸点 192℃ 蒸気圧 0.375mmHg （以上モデル SDS）				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考	
・ 塗料、インキ溶剤、皮仕上塗料（モデル SDS） ・ 塗料・インキ溶剤，洗浄剤（化学工業日報社）		化審法 / 2012 年度 1,175【t】		化審法 ・ 優先評価化学物質（人健康影響）（通し番号 118） 海洋汚染防止法 ・ 有害液体物質（Y類物質） ・ エチレングリコールモノブチルエーテルアセタート	

(6) ジエチレングルコールモノブチルエーテル

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	ジエチレングルコールモノブチルエーテル【2-（2-ブトキシエトキシ）エタノール】	TLV-TWA 10ppm【－】 ACGIH / 2012 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） （以上モデル SDS）	区分 2 A 区分 2（中枢神経系）（※）	・ OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	Diethylene glycol monobutyl ether 【2-(2-Butoxyethoxy)ethanol】				
化学式	C ₈ H ₁₈ O ₃				
CAS No.	112-34-5				
物理化学的性質	形状 液体 色 無色 臭い その他 pH 7 融点 －68.1℃ 沸点 230.4℃ 蒸気圧 0.01mmHg （以上モデル SDS）				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考	
・ 洗剤等、希釈剤、潤滑油、切削油等、洗浄剤、半導体、液晶（モデル SDS） ・ 溶剤（化学工業日報社）		化審法 / 2012 年度 20,000 - <30,000【t】		海洋汚染防止法 ・ 有害液体物質（Z 類物質） ※ この物質は、化審法では 2-422 と 7-97 の 2 つの官報公示整理番号が付されている。	

(7) プロペン

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	プロペン【プロピレン】	TLV-TWA 500ppm【A4】 ACGIH / 2005 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	特定標的臓器・全身毒性（単 回ばく露） （以上モデル SDS）	区分 3（麻酔作用）	- 国連危険物分類 Class or Division / 2.1 - IARC：発がん性評価ラ ンク 3（Vol. 60；1994） - OECD：高生産量化学 物質（HPV）
英名	1-Propene【Propylene】				
化学式	C ₃ H ₆				
CAS No.	115-07-1				
物理化学的 性質	形状 液化ガス 色 無色 臭い 芳香 pH データなし 融点 −185℃ 沸点 −48℃ 蒸気圧 10 atm （以上モデル SDS）				
用途		製造・輸入量		安衛法等の規制等	備考
- アクリロニトリル・ポリプロピレン・エチレンプロピレンゴム・オクタノール・プロピレンオキシド・アセトン・イソプロピルアルコールなどの原料（モデル SDS） - ポリプロピレン・アクリロニトリル・クメン・オキシ製品・プロピレンオキシド・アクリル酸・イソプロピルアルコール原料（SRI:CHEMICAL ECONOMICS HANDBOOK）		化審法 / 2012 年度 5,000,000・<6,000,000【t】		危険物・可燃性のガス	

(8) ヘキサフルオロプロピレン

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	ヘキサフルオロプロペン【ヘキサフルオロプロピレン】	TLV-TWA 0.1ppm ACGIH / 2009 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	急性毒性(吸入:ガス) 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） 特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） （以上モデル SDS）	区分 4 区分 1（腎臓） 区分 1（腎臓）	・ 国連危険物分類 Class or Division / 2.2 ・ OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	hexafluoro-1-Propene【Hexafluoropropylene】				
化学式	C ₃ F ₆				
CAS No.	116-15-4				
物理化学的性質	形状 気体 色 無色透明 臭い 無臭 pH データなし 融点 −156.2℃ 沸点 −29.4℃ 蒸気圧 4.9×10 ³ mmHg (以上モデル SDS)				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考	
・ フッ素樹脂類のコモノマーとして用いられている（モデル SDS） ・ 共重合用原料（化学工業日報社）		化審法 / 2012 年度 5,000 - <6,000【t】			

(9) プロピオンアルデヒド

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	プロピオンアルデヒド	TLV-TWA 20ppm ACGIH / 1998 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	急性毒性(経口) 急性毒性(吸入：蒸気) 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） (以上モデル SDS)	区分 4 区分 4 区分 2 区分 2 A 区分 2（呼吸器系）	・ 国連危険物分類 Class or Division / 3 ・ E P A (2005) 発がん性評価には 情報が不十分な物質 ・ OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	Propionaldehyde 【Propanal】				
化学式	C ₃ H ₆ O				
CAS No.	123-38-6				
物理化学的性質	形状 液体 色 無色 臭い 特有な刺激臭 pH データなし 融点 -81℃ 沸点 49℃ 蒸気圧 34.391kPa (以上モデル SDS)				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等		備考
・ 医薬・樹脂原料、香料原料（モデル SDS） ・ 医薬・樹脂原料，食品添加物（香料，香辛料）（化学工業日報社） ・ トリメチロールエタン原料，香料原料（SRI：CHEMICAL ECONOMICS HANDBOOK）		化審法 / 2011 年度 2,000 - <3,000【t】	・ 危険物・引火性の物		海洋汚染防止法 ・ 有害液体物質（Y 類物質） ・ プロピオンアルデヒド

(10) アセチルアセトン

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	アセチルアセトン【2,4-ペンタンジオン】	TLV-TWA 25ppm【Skin】 ACGIH / 2010 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	急性毒性（経口） 急性毒性（経皮） 急性毒性（吸入：蒸気） 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） （以上モデル SDS）	区分 4 区分 3 区分 3 区分 3（気道刺激性 麻酔作用） 区分 2（神経系 胸腺）	・ 国連危険物分類 Class or Division / 3 ・ OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	Acetylacetone 【2,4-Pentanedione】				
化学式	C ₅ H ₈ O ₂				
CAS No.	123-54-6				
物理化学的性質	形状 液体 色 無色 臭い 特異臭 pH データなし 融点 -23℃ 沸点 140.5℃ 蒸気圧 2.96mmHg （以上モデル SDS）				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等		備考
・ 触媒（金属キレート）原料，接着剤原料，溶剤，有機合成中間体（モデル SDS）		化審法 / 2012 年度 3,000 - <4,000【t】	・ 危険物・引火性の物 ・ 変異原性試験結果 ・ 微生物を用いる変異原性[陽／陰] ・ 染色体[データなし]		

(11) 1-クロロ-2-プロパノールおよび 2-クロロ-1-プロパノール

ア 1-クロロ-2-プロパノール

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	1-クロロ-2-プロパノール	TLV-TWA（※） 1 ppm【Skin; A4】 ACGIH / 1999 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ 1-クロロ-2-プロパノール および 2-クロロ-1-プロパノールとして	データなし（モデル SDS 未作成）		・ 国連危険物分類 Class or Division / 6.1
英名	1-Chloro-2-propanol		以下参考情報		
化学式	C ₃ H ₇ ClO		R-phrases S-phrases	10-20-36/37/38 26-36/39 (Chemical Book)	
CAS No.	127-00-4				
物理化学的性質	形状 液体 色 無色 臭い 芳香 pH データなし 融点 データなし 沸点 126.7℃ 蒸気圧 データなし （(公社) 神戸海難防止研究会）				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等		備考
・ 酸化プロピレン，その他有機合成の中間体（(公社) 神戸海難防止研究会）		化審法 / 2012 年度 ＜1,000【t】	・ 危険物・引火性の物		

イ 2-クロロプロパン-1-オール

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	2-クロロプロパン-1-オール【2-クロロ-1-プロパノール】	TLV-TWA（※） 1 ppm【Skin: A4】 ACGIH / 1999 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ 1-クロロ-2-プロパノールおよび 2-クロロ-1-プロパノールとして	データなし（モデル SDS 未作成）		・ 国連危険物分類 Class or Division / 6.1 ・ OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	2-Chloropropan-1-ol【2-Chloro-1-propanol】		以下参考情報		
化学式	C ₃ H ₇ ClO		R-phrases	10-20/21/22-36-36/37/38	
CAS No.	78-89-7		S-phrases	16-26-27-36/37/39-45	
物理化学的性質	形状 液体 色 無色 臭い 芳香 pH データなし 融点 データなし 沸点 133～134℃ 蒸気圧 データなし （（公社）神戸海難防止研究会）		（Chemical Book）		
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等		備考
・ 酸化プロピレン，その他有機合成の中間体（（公社）神戸海難防止研究会）		化審法 / 2012 年度 ＜1,000【t】	・ 危険物・引火性の物		

(12) テルブホス

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	テルブホス	TLV-TWA 0.01mg/m ³ (IFV) 【Skin; A4; BEI _A 】 ACGIH / 1999 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	データなし（モデル SDS 未作成）		・ 国連危険物分類 Class or Division / 3、6.1
英名	Terbufos【S-tert-butylthiomethyl O,O-diethylphosphorodithioate】		以下参考情報		
化学式	C ₉ H ₂₁ O ₂ PS ₃		R-phrases S-phrases	27/28-50/53 36/37-45-60-61 (Chemical Book)	
CAS No.	13071-79-9				
物理化学的性質	形状 液体（和光純薬工業㈱） 色 無色～うすい黄色（和光純薬工業㈱） 臭い データなし pH データなし 融点 −29℃（Chemical Book） 沸点 69℃（Chemical Book） 蒸気圧 データなし				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等		
・ 殺虫剤，殺線虫剤（N I T E 調査） ・ 農薬：殺虫剤・線虫駆除剤（国立医薬品食品衛生研究所（NIHS）WEB サイト）		データなし			

(13) 酸化マグネシウム

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）	その他の有害性情報等
和名【別名】	酸化マグネシウム	TLV-TWA 10mg/m ³ ⁽¹⁾ 【A4】 ACGIH / 2000 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	データなし（モデル SDS 未作成）	・ OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	Magnesium oxide		以下参考情報（国際化学物質安全性カードより）	
化学式	MgO		暴露の経路： 体内への吸収経路：粉塵やフュームの吸入。	
CAS No.	1309-48-4		吸入の危険性： 拡散すると浮遊粒子が急速に不快濃度に達することがある。	
物理化学的性質	形状 吸湿性の微細な粉末 色 白色 臭い データなし pH データなし 融点 2,800℃ 沸点 3,600℃ （以上国際化学物質安全性カード） 蒸気圧 0mmHg （以上 NITE 化学物質総合情報提供システム）		短期暴露の影響： 機械的刺激を引き起こすことがある。 長期または反復暴露の影響： 反復または長期の粉塵暴露により、肺が冒されることがある GHS 分類（包装・表示） データなし	
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考
- プラスチック架橋剤・充てん剤，ゴム添加剤，電子材料原料，ICパッケージ・特殊光学ガラス原料，食品添加物，医薬，セラミックス原料，触媒，試薬，炉床材・塩基性耐火レンガ・電融マグネシア原料（化学工業日報社） - ゴム薬品原料，電気製品規格スチール原料，プラスチック添加剤，医薬原料，鉄鋼製造用，耐火レンガ原料（SRI：CHEMICAL ECONOMICS HANDBOOK）		平成20年製造・輸入量実態調査集計結果【確報版】 百万～1千万未満【トン】		化審法 ・ 製造輸入量の届出を要しない物質

(14) ホウ酸塩（無機化合物）（※ ほう酸ナトリウムは通知対象物）

ア ホウ酸

化学物質の名称【CAS No.】等			TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	ホウ酸		TLV-TWA（※） 2mg/m ³ ⁽¹⁾ 【A4】 ACGIH / 2004 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ ホウ酸塩（無機化合物）として	急性毒性(経口) 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） 〃 特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） (以上モデル SDS)	区分 5 区分 2 区分 2 A－ 2 B 区分 1 B 区分 1（神経系 消化管） 区分 3（気道刺激性） 区分 1（腎臓）	・ REACH：高懸念物質（SVHC）生殖毒性 cat.2 ・ タイ：有害物質法（工業省工場局所管分）第 3 種有害物質 ・ OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	Boric acid					
化学式	BH ₃ O ₃					
CAS No.	10043-35-3					
物理化学的性質	形状 色 臭い pH 融点 沸点 蒸気圧	固体（結晶） 無色の結晶あるいは白色の粉末 無臭 データなし －168～170℃ 300℃ 2.6mmHg (以上モデル SDS)				
用途			製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考	
・ ガラス・ホウロウ原料、医薬、ニッケルメッキ添加剤、防火剤、防腐剤、写真薬（モデル SDS）			化審法 / 2012 年度 100,000 - <200,000【t】		P R T R 法 ・ 第 1 種指定化学物質（政令番号 1-405） ・ ほう素化合物 大気汚染防止法 ・ 有害大気汚染物質（中環審第 9 次答申の 2 2 1） 水質汚濁防止法 ・ 排水基準：10mg/L (B,海域以外)、230mg/L (B,海域) 土壌汚染対策法 ・ 第 2 種特定有害物質（政令第 1 条第 2 3 号）	

イ 七酸化二ナトリウム四ホウ素五水和物

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）	その他の有害性情報等
和名【別名】	七酸化二ナトリウム四ホウ素五水和物	TLV-TWA（※） 2mg/m ³ ⁽¹⁾ 【A4】 ACGIH / 2004 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ ホウ酸塩（無機化合物）として	データなし（モデル SDS 未作成）	- REACH：高懸念物質（SVHC）生殖毒性 cat.2 - OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	Tetraboron disodium heptaoxide pentahydrate		以下参考情報	
化学式	B ₄ Na ₂ O ₇ ·5H ₂ O		国際化学物質安全性カード：データなし R-phrases・S-phrases：データなし（※）	
CAS No.	12179-04-3		※ Etimine USA Inc.製 SDS（＞99.9%）には以下の記述がある。	
物理化学的性質	形状 Solid（Crystalline Powder） 色 White 臭い Odorless pH 9.3 融点 200℃ 沸点 1,575℃ 蒸気圧 Not applicable （Etimine USA Inc.製 SDS による）		Potential Health Effects Eye: May cause eye irritation. Skin: May cause skin irritation. Ingestion: May cause irritation of the digestive tract. Human fatalities have been reported from acute poisoning. Inhalation: May cause respiratory tract irritation. Chronic: No information found. Risk Phrase(s): Repro Toxicity Category: 2. R60: May impair fertility. R61: May cause harm to the unborn child.	
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考
・ ほうろう鉄器・ガラス・陶磁器・顔料・コンデンサ用原料，医薬（眼科用殺菌・防腐剤），医薬部外品添加物（化粧品等）（化学工業日報社）		データなし		化審法 ・ 新規化学物質として取り扱わない P R T R 法 ・ 第 1 種指定化学物質（政令番号 1-405） ・ ほう素化合物 大気汚染防止法 ・ 有害大気汚染物質（中環審第 9 次答申の 2 2 1） 水質汚濁防止法 ・ 排水基準：10mg/L (B,海域以外)、230mg/L (B,海域) 土壌汚染対策法 ・ 第 2 種特定有害物質（政令第 1 条第 2 3 号）

(15) 滑石

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）	その他の有害性情報等
和名【別名】	滑石【タルク】	TLV-TWA 2mg/m ³ (E,R) 【A4】 ACGIH / 2009 / 正式値 許容濃度（※） 0.5 mg/m ³ （吸入性粉塵） 2 mg/m ³ （総粉塵） 産衛学会 ※ 第1種粉塵として	データなし（モデル SDS 未作成）	- IARC 発がん性評価ランク 2 B (Vol.93 ; 2010) Talc-based body powder (perineal use of) 3 (Vol.42 ; 2010) Talc not containing asbestos or asbestiform fibres - 韓国：有害化学物質管理法 取扱禁止物質（KE-32773） - OECD：高生産量化学物質 (HPV)
英名	Talc		以下参考情報（国際化学物質安全性カードより）	
化学式	H ₂ Mg ₃ O ₁₂ Si ₄		暴露の経路： 体内への吸収経路：主に吸入。	
CAS No.	14807-96-6		吸入の危険性： 浮遊粒子が急速に有害濃度に達することがある。	
物理化学的性質	形状 粉末 色 白色 臭い データなし pH データなし 融点 900～1000℃ 沸点 データなし 蒸気圧 データなし （以上国際化学物質安全性カード）		短期暴露の影響： 眼や気道に機械的刺激を引き起こすことがある。 長期または反復暴露の影響： 肺に影響を与え、塵肺症を生じることがある。「注」 GHS 分類（包装・表示） 注意喚起語：警告 吸入の場合、長期または反復暴露による肺の障害のおそれ 「注」 ・ 暴露の程度によっては、定期検診を勧める。 ・ アスベストやアスベスト繊維を含むタルクは発がん性の可能性がある。	
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考
- 紙製品・ゴム製品・セラミックス・医薬・化粧品・石けん・つや消し配合原料，食品添加物（化学工業日報社） - 細粉として減摩剤、化粧品、製紙、セラミックス原料に用いる（平成 18 年 10 月 16 日厚生労働省報道発表資料）		米地質調査所 / 2013 年 370【t】(生産量)(※) ※ 葉蠟石を含む http://minerals.usgs.gov/minerals/pubs/commodity/talc/mcs-2014-talc.pdf		水質汚濁防止法 ・ 排水基準：200mg/L 以下 （日間平均 150mg/L 以下）

(16) 3, 3, 4, 4, 5, 5, 6, 6, 6-ノナフルオロ-1-ヘキセン

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）	その他の有害性情報等
和名【別名】	3,3,4,4,5,5,6,6,6-ノナフルオロ-1-ヘキセン【ペルフルオロブチルエチレン】	TLV-TWA 100ppm ACGIH / 2007 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	データなし（モデル SDS 未作成）	- 国連危険物分類 Class or Division / 3 - CLP 分類（GHS）は、Health hazards の全項目について「conclusive but not sufficient for classification」又は「data lacking」とされている。
英名	3,3,4,4,5,5,6,6,6-nonafluorohexene【Perfluorobutyl ethylene】		以下参考情報（国際化学物質安全性カードより）	
化学式	C ₆ H ₃ F ₉		暴露の経路: データなし 吸入の危険性: 20℃で気化したとき、空気中で有害濃度に達する速度は不明である。 短期暴露の影響: 軽度に眼を刺激する。 長期または反復暴露の影響: データなし GHS 分類（包装・表示） 注意喚起語：危険 シンボル：炎 引火性の高い液体または蒸気 眼刺激	
CAS No.	19430-93-4			
物理化学的性質	形状 液体 色 無色 臭い データなし pH データなし 融点 データなし 沸点 58℃ 蒸気圧 31.7kPa （以上国際化学物質安全性カード）			
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考
冷媒原料（N I T E 調査）		データなし	危険物・引火性の物	化審法 白物質（通し番号 1506）

(17) ペルフルオロオクタン酸

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	ペルフルオロオクタン酸	TLV-TWA なし 許容濃度 0.005mg/m ³ （※）【一】 産衛学会 / 2008 ※ 妊娠可能な女性には 適用しない。	生殖毒性 特定標的臓器毒性（反復ばく露） （以上モデル SDS）	区分 1 B 区分 1（肝臓）	- 国連危険物分類 Class or Division / 8 - IARC 発がん性評価ランク 2 B (Vol. 110 ; 2014) - E U 性評価ランク 2 - REACH：高懸念物質（SVHC）生殖毒性, PBT(残留性、蓄積性、毒性を有する物質)
英名	Perfluorooctanoic acid				
化学式	C ₈ HF ₁₅ O ₂				
CAS No.	335-67-1				
物理化学的性質	形状 粉末 色 白色 臭い 刺激臭 pH 2.6 融点 54.3℃ 沸点 189℃ 蒸気圧 0.525mmHg (以上モデル SDS)				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等		備考
- フルオロポリマーやフルオロエラストマー合成の添加剤、湿潤、分散、乳化、起泡剤などとして消火、香粧品、グリースに使用（モデル SDS） - 半導体用，消火剤，撥水剤，紙の表面処理剤，樹脂改質剤（NITE 調査）		化審法 / 2010 年度 ＜1,000【t】			化審法 （旧）第 2 種監視化学物質（通し番号 682）

(18) N,N-ジエチルヒドロキシルアミン

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	N,N-ジエチルヒドロキシルアミン【ジエチルヒドロキシルアミン】	TLV-TWA（※） 2ppm【一】 ACGIH / 2012 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ ACGIH の原本では CAS No.は 3710-87-7 となっているが、誤植 と思われる。	急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入：蒸気) 特定標的臓器・全身毒性（単 回ばく露） （以上モデル SDS）	区分 4 区分 4 区分 2（神経系）	・ OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	N,N-Diethylhydroxylamine【Ethanamine, N-ethyl-N-hydroxy-】				
化学式	C ₄ H ₁₁ NO				
CAS No.	3710-84-7				
物理化学的性質	形状 液体 色 無色 臭い データなし pH 弱アルカリ性 融点 10℃ 沸点 133℃ 蒸気圧 5mmHg （以上モデル SDS）				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考	
・ 重合禁止剤。インスタント黒白写真用現像薬.キノンの選択的還元剤。（モデル SDS） ・ 重合停止剤，着色防止剤（化学工業日報社） ・ 重合停止剤、安定剤、酸化防止剤、写真現像薬（NITE 安全性試験結果）		化審法 / 2012 年度 <1,000【t】	・ 危険物・引火性の物		

(19) ジアセチル

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）	その他の有害性情報等	
和名【別名】	ジアセチル【2,3-ブタンジオン】	TLV-TWA 0.01ppm【A4】 ACGIH / 2011 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	データなし（モデル SDS 未作成）	国連危険物分類 Class or Division / 3	
英名	Diacetyl【Butanedione】		以下参考情報（国際化学物質安全性カードより）		
化学式	C ₄ H ₆ O ₂		暴露の経路: 体内への吸収経路：吸入および経口摂取。		
CAS No.	431-03-8		吸入の危険性: 20℃で気化したとき、空気中で有害濃度に達する速度は不明である。		
物理化学的性質	形状 液体 色 緑色～黄色 臭い データなし（※） pH データなし 融点 -2.4℃ 沸点 88℃ 蒸気圧 7.6kPa （以上国際化学物質安全性カード） ※ 香料として用いられる。		短期暴露の影響: 眼を重度に刺激する。皮膚および気道を刺激する。中枢神経系に影響を与えることがある。 高濃度に暴露すると、意識低下を引き起こすことがある。 長期または反復暴露の影響: 肺に影響を与え、機能障害を生じることがある。「注」 GHS 分類（包装・表示） 注意喚起語：危険 シンボル：炎-どくろ 飲み込むと有害 蒸気を吸入すると有害 皮膚刺激 強い眼刺激	「注」 - 他の物質と同時に暴露した労働者で閉塞性細気管支炎のリスク増加が認められているが、本物質が原因であるという十分な証拠はない。 - この物質に暴露したときの健康への影響は十分に調べられていない。 - この物質の環境への影響は十分に調べられていない。 - 作業衣を家に持ち帰ってはならない。	
用途		製造・輸入量		安衛法等の規制等	備考
有機合成中間体，香料（化学工業日報社）		日本香料工業会「香料ジアセチルの安全性について」平成 19 年 1.6【t】（年間生産量）		危険物・引火性の物	

(20) 硫化カルボニル

化学物質の名称【CAS No.】等			TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）	その他の有害性情報等	
和名【別名】	硫化カルボニル		TLV-TWA 5ppm ACGIH / 2011 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	データなし（モデル SDS 未作成）		・ 国連危険物分類 Class or Division / 2.3
英名	Carbonyl sulfide			以下参考情報		
化学式	COS			R-phrases S-phrases	11-20-36/37/38	
CAS No.	463-58-1				16-26-38	
物理化学的性質	形状	gas（Chemical Book）			（Chemical Book）	
	色	無色（太陽日酸技報 No.29（2010））				
	臭い	データなし				
	pH	データなし				
	融点	－138℃（Chemical Book）				
沸点	－ 50℃（Chemical Book）					
蒸気圧	1,103MPa（太陽日酸技報 No.29（2010））					
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等		備考	
・ 殺虫剤, 医薬・除草剤原料（化学工業日報社）		データなし				

(21) ジメチル=2,2,2-トリクロロ-1-ヒドロキシエチルホスホナート (別名トリクロロホン又はDEP)

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	ジメチル=2,2,2-トリクロロ-1-ヒドロキシエチルホスホナート【トリクロロホン又はDEP】	TLV-TWA 1mg/m ³ ⁽¹⁾ 【A4; BEI _A 】 ACGIH / 1998 / 正式値 許容濃度 0.2mg/m ³ 【経皮吸収】 産衛学会 / 2010	急性毒性(経口) 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 皮膚感作性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) (以上モデル SDS)	区分 3 区分 2 B 区分 1 区分 2 区分 2 (神経系)	- 国連危険物分類 Class or Division / 3、6.1 - IARC 発がん性評価ランク 3 (Vol. 30 ; 1987)
英名	Dimethy=2,2,2-trichloro-1-hydroxyethylphosphonate【Trichlorphon】				
化学式	C ₄ H ₈ Cl ₃ O ₄ P				
CAS No.	52-68-6				
物理化学的性質	形状 固体 (結晶) 色 白色 臭い データなし pH データなし 融点 77～81℃ 沸点 データなし 蒸気圧 (以下原文のママ) 7.8E-06mmHg (以上モデル SDS)				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考	
- 殺虫剤・防虫剤 (モデル SDS) - 農薬 (殺虫剤) (化学工業日報社)		PRTR 法 第一種指定化学物質総括表：製造・輸入量区分 (2014 年 12 月時点) 100【t/Y】(オーダー)		PRTR 法 - 第 1 種指定化学物質 (政令番号 1-225) - ジメチル=二・二・二-トリクロロ-1-ヒドロキシエチルホスホナート (別名トリクロロホン又はDEP) 毒物及び劇物取締法 - 法律・劇物 (法律別表第 2 の 5 9) - 政令・劇物 (政令第 2 条第 1 項第 7 4 号) 大気汚染防止法 - 有害大気汚染物質 (中環審第 9 次答申の 1 0 2) 船舶安全法 / 航空法 / 港則法 - 毒物類・毒物	

(22) 亜硝酸イソブチル

化学物質の名称【CAS No.】等			TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	亜硝酸イソブチル【イソブチル＝ニトリット】		TLV- <u>STEL</u> 1 ppm ^(IFV) 【A3:BEIM】 ACGIH / 2000 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	急性毒性(経口) 急性毒性(吸入：蒸気) 生殖細胞変異原性 発がん性 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 特定標的臓器毒性（反復ばく露） （以上モデル SDS）	区分 4 区分 3 区分 2 区分 2 区分 1（血液系、呼吸器系） 区分 2（血液系、呼吸器系）	・ 国連危険物分類 Class or Division / 3 ・ EU 発がん性評価 ランク 1 B
英名	Isobutyl nitrite					
化学式	C ₄ H ₉ NO ₂					
CAS No.	542-56-3					
物理化学的性質	形状 液体 色 無色 臭い 果実のようなにおい pH データなし 融点 0℃ 沸点 67℃ 蒸気圧 1.3kPa (以上モデル SDS)					
用途			製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考	
● 亜硝酸イソブチルは、「RUSH」という俗称のある危険ドラッグのひとつで、 医薬品医療機器等法 上の指定薬物であり、「薬事法第二条第十四項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令」で定める用途(※)以外での使用はできない。			データなし	・ 危険物・引火性の物	毒物及び劇物取締法 ・ 政令・劇物（政令第2条第1項第1号の5） ・ 亜硝酸イソブチル及びこれを含有する製剤 医薬品医療機器等法（旧薬事法） 指定薬物（平成19年2月28日）(※)	
※ 「元素又は化合物に化学反応を起こさせる用途」の他は、きわめて限定された用途のみ。					※ 【指定薬物】 疾病の診断、治療又は予防の用途及び人の身体に対する危害の発生を伴うおそれがない用途として厚生労働省令で定めるもの以外の用途に供するための、製造、輸入、販売、授与、又は販売若しくは授与の目的での貯蔵、若しくは陳列が禁止されている。	

(23) 0-3-クロロ-4-メチルクマリン-7-イル 0,0-ジエチルホスホロチオアート

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	0-3-クロロ-4-メチルクマリン-7-イル 0,0-ジエチルホスホロチオアート【クマホス】	TLV-TWA $0.05\text{mg}/\text{m}^3(\text{IFV})$ 【Skin ; A4 ; BEI _A 】 ACGIH / 2005 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	急性毒性(経口)	区分 2	・ 国連危険物分類 Class or Division / 6.1、3
英名	O-3-Chloro-4-methylcoumarin-7-ylO,O-diethylphosphorothioate【Coumaphos】		急性毒性(経皮)	区分 3	
化学式	C ₁₄ H ₁₆ ClO ₅ PS		急性毒性(吸入：粉じん)	区分 2	
CAS No.	56-72-4		眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2 B	
物理化学的性質	形状 固体 色 無色の結晶、薄い褐色 臭い 弱い硫黄臭 pH データなし 融点 93℃ 沸点 データなし 蒸気圧 $9.7\text{E}-8\text{mmHg}$ (以上モデル SDS)		特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分 1（神経系）	
			特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分 1（神経系 ひ臓）	
			(以上モデル SDS)		
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考	
- 駆虫薬、動物用医薬品、防疫用殺虫剤、有機リン系殺虫剤（モデル SDS） - 殺虫剤（N I T E 調査）		データなし		海洋汚染防止法 - 個品運送 P P（※） 船舶安全法 ／ 航空法 ／ 港則法 - 毒物類・毒物 ※ 海洋汚染防止法施行令別表第 1 第 1 号に掲げる X 類物質等と同程度に有害であるものとして告示で定める物質	

(24) ポルトランドセメント

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）	その他の有害性情報等
和名【別名】	ポルトランドセメント	TLV-TWA 1mg/m ³ (E,R)【A4】 ACGIH / 2009 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	データなし（モデル SDS 未作成）	・ OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	Portland cement		以下参考情報（国際化学物質安全性カードより）	
化学式	Unspecified		暴露の経路： 体内への吸収経路：吸入。	
CAS No.	65997-15-1		吸入の危険性： 拡散すると、浮遊粒子が急速に不快濃度に達することがある。	
物理化学的性質	形状 粉末 色 明るい灰色あるいは白色 臭い データなし pH データなし 融点 1,000℃ 沸点 データなし 蒸気圧 データなし （以上国際化学物質安全性カード）		短期暴露の影響： 皮膚、気道を刺激する。眼に対して腐食性を示す。 長期または反復暴露の影響： 反復または長期の皮膚への接触により、皮膚炎を起こすことがある。反復または長期の接触により、皮膚が感作されることがある。 GHS 分類（包装・表示） データなし	
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考
・ モルタル・コンクリート・建材原料（N I T E 調査）		（一社）セメント協会 / 2013 年度 【生産量】 ・ ポルトランドセメント 43,766【千トン】 ・ 混合セメント（※） 14,705【千トン】 ※ ポルトランドセメント含有		日本工業規格 ・ JIS R 5210（ポルトランドセメント） 労規則別表 1 の 2【職業病リスト】（４号 3） ・ （・・・略・・・）セメント（・・・略・・・）にさらされる業務による皮膚疾患 その他 ・ 英国 HSE は「セメントの安全使用に関する新情報シート」及び「建設業におけるセメントの安全使用に関するガイダンス」を公表している。

(25) アルミニウム（金属）及び不溶性化合物

ア アルミニウム（金属）

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等	
和名【別名】	アルミニウム（金属）	TLV-TWA（※１） 1 mg/m ³ (R) 【A4】 ACGIH / 2007 / 正式値 許容濃度（※２） 0.5 mg/m ³ （吸入性粉塵） 2 mg/m ³ （総粉塵） ※１ 「アルミニウム（金属） 及び不溶性化合物（insoluble compounds）」として ※２ 第１種粉塵として	特定標的臓器・全身毒性（反 復ばく露） 〃 （以上モデル SDS（※）） ※ モデル SDS は「アルミ ニウム粉」についてのもの	区分１（肺） 区分２（神経系）	・ 国連危険物分類 Class or Division / 4.1、4.3 ・ IARC 発がん性評価ランク 1 (Vol. 103F；2012)（※） ・ OECD：高生産量化学物質 （HPV） ※ 「アルミニウム製造時の職 業ばく露」（Cas No.は記載さ れていない）についてのもの	
英名	Aluminum metal					
化学式	Al					
CAS No.	7429-90-5					
物理化学的 性質	形状 粉末（※） 色 白～灰色 臭い データなし pH データなし 融点 660℃ 沸点 2,327℃ 蒸気圧 データなし （以上モデル SDS） ※ モデル SDS は「アル ミニウム粉」についての もの					
用途			製造・輸入量		安衛法等の規制等	備考
・ 圧延品、電線、鋳鍛造品、ダイカスト、食品添加物；着色料（食品の外面装飾用）化粧品原料（清浄用化粧品、頭髮用化粧品、基礎化粧品、メイクアップ化粧品、芳香化粧品、日焼け・日焼け止め化粧品、爪化粧品、アイライナー化粧品、口唇化粧品、口腔化粧品、入浴用化粧品）（モデル SDS） ・ 金属（圧延品）・電線・ダイカスト原料（化学工業日報社） ※ モデル SDS は「アルミニウム粉」について、化学工業日報社はアルミニウムについてのもの			（一社）日本アルミニウム協会 製造量（新地金） 3【t】 輸入量（新地金）1,849【t】 （2013 年）		・ アルミニウム粉は 危険物・発火性の物	

イ ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム【六フッ化アルミン酸三ナトリウム】	TLV-TWA（※） 1 mg/m ³ (R) 【A4】 ACGIH / 2007 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ 「アルミニウム（金属）及び不溶性化合物（insoluble compounds）」として 「Fluorides, as F」は 2.5mg/m ³ 【A4; BEI】（1979）	特定標的臓器・全身毒性 （単回ばく露） （以上モデル SDS）	区分 3（気道刺激性）	・ OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	Trisodiumhexafluoroaluminate				
化学式	AlF ₆ Na ₃				
CAS No.	13775-53-6				
物理化学的性質	形状 固体 色 無色 臭い 無臭 pH 6 融点 1,013℃ 沸点 データなし 蒸気圧 約 2.53hPa （以上モデル SDS）				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考	
・ 農薬（殺虫剤）（モデル SDS） ・ フラックス，アルミ精錬融剤，エナメル・ガラスの乳白剤，ゴム充填剤，殺虫剤原料（化学工業日報社）		データなし		水質汚染防止法 ・ 有害物質（排水基準を定める省令第 1 条） ・ ふっ素及びその化合物 土壌汚染対策法 ・ 第 2 種特定有害物質（政令第 1 条第 2 1 号） ・ ふっ素及びその化合物	

ウ トリフル化アルミニウム

化学物質の名称【CAS No.】等			TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	三フッ化アルミニウム【フッ化アルミニウム】		TLV-TWA（※） 1 mg/m ³ (R) 【A4】 ACGIH / 2007 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ 「アルミニウム（金属）及び不溶性化合物（insoluble compounds）」として 「Fluorides, as F」は 2.5mg/m ³ 【A4; BEI】（1979）	急性毒性（経口） 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） （以上モデル SDS）	区分 3 区分 2 区分 1（骨）	・ 国連危険物分類 Class or Division / 8 ・ OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	Aluminiumtrifluoride					
化学式	AlF ₃					
CAS No.	7784-18-1					
物理化学的性質	形状 六方晶 色 白色 臭い データなし pH データなし 融点 1,090℃ 沸点 1,272℃ 蒸気圧 1mmHg (以上モデル SDS)					
用途			製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考	
・ セラミックス、冶金の溶剤、アルミニウム製造、発酵の阻害剤、有機反応の触媒（モデル SDS） ・ 非鉄金属の製錬用融剤，陶磁器の釉薬，溶接棒フラックス，アルミナインジグ用，光学レンズ原料（化学工業日報社）			化審法 / 2012 年度 4,000 - <5,000【t】		水質汚染防止法 ・ 有害物質（排水基準を定める省令第 1 条） ・ ふっ素及びその化合物 土壌汚染対策法 ・ 第 2 種特定有害物質（政令第 1 条第 2 1 号） ・ ふっ素及びその化合物 船舶安全法 ／ 航空法 ・ 毒物類・毒物	

エ 水素化ビス（２－メトキシエトキシ）アルミニウムナトリウム

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	水素化ビス（２－メトキシエトキシ）アルミニウムナトリウム	TLV-TWA（※） 1 mg/m ^{3(R)} 【A4】 ACGIH / 2007 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ 「アルミニウム（金属）及び不溶性化合物（insoluble compounds）」として	全項目 { （以上モデル SDS）	分類できない 又は 分類対象外	- CLP 分類（GHS）は、以下の通り - Skin Corr. 1BH314: Causes severe skin burns and eye damage. - Eye Damage 1H318: Causes serious eye damage. - STOT Single Exp. 3H335: May cause respiratory irritation. Affected organs: Respiratory Tract Route of exposure: Inhalation ※ STOT Single Exp.：特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）
英名	Sodiumdihydridobis(2-methoxyethanolato)aluminate(1-)				
化学式	C ₆ H ₁₆ AlNaO ₄				
CAS No.	22722-98-1				
物理化学的性質	形状 固体 色 無色 臭い データなし pH データなし 融点 < 0℃ 沸点 データなし 蒸気圧 4.1E－11mmHg （以上モデル SDS）				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等		備考
- 精密化学品生産の還元剤、ラクタムとアルケンの重合触媒、有機イソシアネートの三量体化、グリニャール試薬の調整（モデル SDS） - 有機合成還元剤（化学工業日報社）		データなし			

(26) エチレン

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	エチレン【エテン】	TLV-TWA 200ppm【A4】 ACGIH / 2001 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	特定標的臓器・全身毒性（単 回ばく露） （以上モデル SDS）	区分 3（麻酔作用）	- 国連危険物分類 Class or Division / 2.1 - IARC 発がん性評価ランク 3 (Vol. 60 ; 1994) - OECD：高生産量化学物質 (HPV)
英名	Ethylene【Ethene】				
化学式	C ₂ H ₄				
CAS No.	74-85-1				
物理化学的性質	形状 圧縮ガス 色 無色 臭い 特徴的な臭気 pH データなし 融点 -169.2℃ 沸点 -104℃ 蒸気圧 8,100kPa （以上モデル SDS）				
用途		製造・輸入量		安衛法等の規制等	備考
- ポリエチレン（低密度，高密度，直鎖状低密度）、酸化エチレン、塩化ビニル、酢酸ビニル、エチルベンゼン、スチレン、アセトアルデヒド、合成エタノール、塩化エチル、エチレンプロピレンゴムなどの原料、また原体で果実の成熟にも用いられる（モデル SDS） - ポリエチレン・アセトアルデヒド・酸化エチレン・塩化ビニル・エチルベンゼンなどの原料（化学工業日報社） - ポリエチレン・アセトアルデヒド・酸化エチレン・塩化ビニル・エチルベンゼンなどの原料（SRI:CHEMICAL ECONOMICS HANDBOOK）		化審法 / 2012 年度 4,000,000 - <5,000,000【t】		危険物・可燃性のガス	

(27) 沃素及び沃化物（※ 沃素は既通知対象物質）

ア ヨウ化カリウム

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	ヨウ化カリウム	TLV-TWA（※） 0.01ppm ACGIH / 2007 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ 沃素及び沃化物として	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） （以上モデル SDS）	区分 2 B 区分 2 区分 1（甲状腺 皮膚 全身毒性）	・ OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	Potassium Iodide				
化学式	IK				
CAS No.	7681-11-0				
物理化学的性質	形状 立方体の結晶、顆粒、または粉末 色 無色または白色 臭い データなし pH 7～9 融点 680℃ 沸点 1,330℃ 蒸気圧 1mmHg （以上モデル SDS）				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等		備考
・ 写真用エマルジョン、放射線事故の処置、分析用、動物および家禽の飼料、食卓塩や飲料水のヨード源、触媒、殺菌用（モデル SDS） ・ 写真薬、有機合成原料、分析用試薬、オキシダント測定用、飼料添加物（化学工業日報社）		平成 20 年製造・輸入量実態調査集計結果【確報版】 千～1 万未満【トン】			

イ ヨウ化銀（Ⅰ）

化学物質の名称【CAS No.】等			TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	ヨウ化銀（Ⅰ）		TLV-TWA（※） 0.01ppm ACGIH / 2007 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ 沃素及び沃化物として	全項目 （以上モデル SDS）	分類できない 又は 分類対象外	・ CLP 分類（GHS）は、 Health hazards の全項目について「conclusive but not sufficient for classification」又は「data lacking」とされている。
英名	Silver(I) iodide					
化学式	AgI					
CAS No.	7783-96-2					
物理化学的性質	形状	固体		以下参考情報		
	色	データなし		R-phrases S-phrases	36/37/38 22-24/25 （Chemical Book）	
	臭い	データなし				
	pH	データなし				
	融点	552℃				
	沸点	1,506℃				
	蒸気圧	1 mmHg				
	（以上モデル SDS）					
用途			製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考	
・ 医薬・写真乳剤原料（化学工業日報社） ・ 人工降雨、降雪（気象研究所）			データなし		大気汚染防止法 ・ 有害大気汚染物質（中環審第 9 次答申の 45） 毒物及び劇物取締法 ・ 政令・劇物（政令第 2 条第 1 項第 2 4 号）	

ウ ヨウ化水素

化学物質の名称【CAS No.】等			TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	ヨウ化水素		TLV-TWA（※） 0.01ppm ACGIH / 2007 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ 沃素及び沃化物として	皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） 特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） （以上モデル SDS）	区分 1 A－ 1 C 区分 1 区分 1（吸入：呼吸器系） 区分 1（吸入：呼吸器系）	・ 国連危険物分類 Class or Division / 8、2.3
英名	Hydrogen iodide					
化学式	HI					
CAS No.	10034-85-2					
物理化学的性質	形状 液化ガス 色 無色 臭い 刺激臭 pH データなし 融点 －51℃ 沸点 －35.1℃ 蒸気圧 756kPa (以上モデル SDS)					
用途			製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考	
・ 医薬、医薬中間体 合成中間体（モデル SDS） ・ 分析用試薬，医薬原料（化学工業日報社）			化審法 / 2012 年度 ＜1,000【t】		毒物及び劇物取締法 ・ 法律・劇物（法律別表第 2 の 8 7 号） ・ 政令・劇物（政令第 2 条第 1 項第 1 0 2 号）	

(28) 硫酸カルシウム

ア 硫酸カルシウム

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）	その他の有害性情報等	
和名【別名】	硫酸カルシウム	TLV-TWA（※） 10mg/m ³ ⁽¹⁾ ACGIH / 2009 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ 硫酸カルシウムとして（吸湿性画分）	データなし（モデル SDS 未作成）	・ OECD：高生産量化学物質（HPV）	
英名	Calcium sulfate		以下参考情報（国際化学物質安全性カードより）	・ CLP 分類（GHS）は、 Health hazards の全項目について「conclusive but not sufficient for classification」又は「data lacking」とされている。	
化学式	CaO ₄ S【CaSO ₄ 】		暴露の経路: データなし 吸入の危険性: 拡散すると浮遊粒子が急速に不快濃度に達することがある。 短期暴露の影響: 機械的刺激を引き起こすことがある。経口摂取すると胃腸管の閉塞を引き起こすことがある。 長期または反復暴露の影響: 結晶シリカが存在すると、反復または長期の粉塵微粒子暴露により肺が冒されることがある。 GHS 分類（包装・表示） データなし		
CAS No.	7778-18-9				
物理化学的性質	形状 吸湿性の結晶性粉末 色 白色 臭い データなし pH データなし 融点 1,450℃ 沸点 データなし 蒸気圧 データなし （以上国際化学物質安全性カード）				
用途		製造・輸入量		安衛法等の規制等	備考
・ セメント・ボード・プラスター原料，豆腐凝固剤，農薬（植物成長調整剤）（化学工業日報社）		平成 20 年製造・輸入量実態調査集計結果【確報版】 百万～1 千万未満【トン】 （硫酸カルシウム/官報公示整理番号 1-193）			

イ 硫酸カルシウム（1/2 水和物）

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）	その他の有害性情報等
和名【別名】	硫酸カルシウム（1/2 水和物） 【焼石膏、バサニ石又はか焼】	TLV-TWA（※） 10mg/m ³ ① ACGIH / 2009 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ 硫酸カルシウムとして（総粉塵として、アスベスト不含、結晶性シリカ＜１％の微粒子）	データなし（モデル SDS 未作成）	・ OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	Calcium sulfate		以下参考情報（国際化学物質安全性カードより）	
化学式	Ca ₂ O ₈ S ₂ .H ₂ O 【CaSO ₄ .1/2H ₂ O】		暴露の経路: データなし 吸入の危険性: とくに粉末の場合、拡散すると浮遊粒子が急速に不快濃度に達することがある。 短期暴露の影響: 機械的刺激を引き起こすことがある。 長期または反復暴露の影響: データなし GHS 分類（包装・表示） データなし ※ CASNo. 26499-65-0（焼石膏）のもの	
CAS No.	10034-76-1			
物理化学的性質	形状 吸湿性粉末 色 白色 臭い データなし pH データなし 融点 163℃ 沸点 データなし 蒸気圧 データなし （以上国際化学物質安全性カード） ※ CASNo. 26499-65-0（焼石膏）のもの			
用途	製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考	
データなし	データなし		・ 硫酸カルシウム（Cas No.7778-18-9）の 1/2 水和物 ・ 化審法の官報公示整理番号なし ・ 欧州商業用既存化学物質名簿(EINECS)にデータなし ・ 米国有害物質規制法（TSCA）：既存化学物質名簿にデータなし	

ウ 硫酸カルシウム（2水和物）

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）	その他の有害性情報等
和名【別名】	硫酸カルシウム（2水和物） 【石膏、二水石膏、軟石膏】	TLV-TWA（※） 10mg/m ³ ① ACGIH / 2009 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ 硫酸カルシウムとして（吸湿性画分）	データなし（モデル SDS 未作成）	・ OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	Calcium sulfate, dihydrate		以下参考情報（国際化学物質安全性カードより）	
化学式	CaO ₄ S・2H ₂ O【CaSO ₄ ・2H ₂ O】		暴露の経路： データなし	
CAS No.	10101-41-4		吸入の危険性： 拡散すると浮遊粒子が急速に不快濃度に達すること がある。	
物理化学的性質	形状 結晶性粉末 色 データなし 臭い データなし pH データなし 融点 100～150℃ 沸点 データなし 蒸気圧 データなし (以上国際化学物質安全性カード)		短期暴露の影響： 機械的刺激を引き起こすことがある。 長期または反復暴露の影響： 反復または長期にわたる粉塵の暴露により、肺が冒されることがある。 GHS 分類（包装・表示） データなし	
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考
・ セメント・ボード・プラスター原料, 医薬部外品添加物(薬用石けん, 化粧品等), 食品添加物(豆腐凝固剤), 農薬(植物成長調整剤) (NITE 調査)		【Gypsum の生産量】 米地質調査所 / 2012 年 5,500【千トン】(生産量) http://minerals.usgs.gov/minerals/pubs/commodity/gypsum/myb1-2012-gypsu.pdf		・ 硫酸カルシウム（Cas No.7778-18-9）の2水和物 ・ 化審法の官報公示整理番号なし ・ 欧州商業用既存化学物質名簿(EINECS)にデータなし ・ 米国有害物質規制法（TSCA）：既存化学物質名簿にデータなし

エ 硫酸カルシウム（2水和物）

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）	その他の有害性情報等
和名【別名】	硫酸カルシウム（2水和物）【石膏（鉱物）】	TLV-TWA（※） 10mg/m ³ ^① ACGIH / 2009 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ 硫酸カルシウムとして（吸湿性画分）	データなし（モデル SDS 未作成）	・ OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	Calcium sulfate hemihydrate【Gypsum(mineral)】		以下参考情報（国際化学物質安全性カードより）	
化学式	CaO ₄ S.2H ₂ O【CaSO ₄ .2H ₂ O】		暴露の経路： データなし 吸入の危険性： 特に粉末の場合、拡散すると浮遊粒子が急速に不快濃度に達することがある。 短期暴露の影響： 機械的刺激を引き起こすことがある。 長期または反復暴露の影響： 結晶性シリカが存在する場合、反復または長期の粉塵粒子への暴露により、肺が冒されることがある。 GHS 分類（包装・表示） データなし	
CAS No.	13397-24-5			
物理化学的性質	形状 結晶性粉末または塊状物 色 白色 臭い データなし pH データなし 融点 100～150℃ 沸点 データなし 蒸気圧 データなし （以上国際化学物質安全性カード）			
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考
データなし		【Gypsum の生産量】 米地質調査所 / 2012 年 5,500【千トン】（生産量） http://minerals.usgs.gov/minerals/pubs/commodity/gypsum/myb1-2012-gypsu.pdf		・ 硫酸カルシウム（Cas No.7778-18-9）の2水和物 ・ 化審法の官報公示整理番号なし ・ 欧州商業用既存化学物質名簿(EINECS)にデータなし ・ 米国有害物質規制法（TSCA）：既存化学物質名簿にデータなし

(29) クロロ酢酸

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	クロロ酢酸【モノクロロ酢酸】	TLV-TWA 0.5ppm (IFV) 【Skin: A4】 ACGIH / 2005 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	急性毒性(経口)	区分 3	- 国連危険物分類 Class or Division / 6.1 - OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	Chloroacetic acid 【Monochloroacetic acid】		急性毒性(経皮)	区分 2	
化学式	C ₂ H ₃ ClO ₂		急性毒性(吸入：粉じん及びミスト)	区分 2	
CAS No.	79-11-8		皮膚腐食性・刺激性	区分 1 A	
物理化学的性質	形状 潮解性結晶 色 無色 臭い 刺すような酢酸類似臭 pH < 1 融点 61～63℃ 沸点 189℃ 蒸気圧 0.065mmHg （以上モデル SDS）		眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 1	
			特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 1（神経系 心血管系 腎臓）	
			〃	区分 3（気道刺激性）	
			特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 2（心臓 肝臓）	
			（以上モデル SDS）		
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考	
- 除草剤、カルボキシメチルセルロース、医薬品、農薬、キレート剤、可塑剤、界面活性剤、パーマネント液、接着剤などの合成原料（モデル SDS） - 可塑剤・医薬原料（化学工業日報社） - カルボキシメチルセルロース原料、農薬・医薬原料（SRI:CHEMICAL ECONOMICS HANDBOOK） - カルボキシメチルセルロース原料，2，4－ジシクロフェノキシ酢酸原料，チオグリコール酸及び両性界面活性剤原料（N I T E 初期リスク評価書）		化審法 / 2012 年度 16,402【t】	- 変異原性試験結果 - 微生物を用いる変異原性[陰] - 染色体[データなし]	化審法 - 優先評価化学物質（人健康影響／生態影響）（通し番号 119） （旧）第 2 種監視化学物質（通し番号 1054） P R T R 法 - 第 1 種指定化学物質（政令番号 1-98） - クロロ酢酸 大気汚染防止法 - 有害大気汚染物質（中環審第 9 次答申の 51） 海洋汚染防止法 - 有害液体物質（Y 類物質） 毒物及び劇物取締法 - 法律・劇物（法律別表第 2 の 86） 船舶安全法 / 航空法 - 毒物類・毒物（航空法のみ輸送禁止）	

(30) ジクロロ酢酸

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	ジクロロ酢酸	TLV-TWA 0.5ppm【Skin; A3】 ACGIH / 2002 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	急性毒性（経口） 急性毒性（経皮） 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 特定標的臓器毒性（反復ばく露） 〃 （以上モデル SDS）	区分 5 区分 3 区分 1 A～1 C 区分 1 区分 2 区分 2 区分 2 区分 2（吸入：肺） 区分 1（神経系） 区分 2（肝臓 腎臓 精巣）	- 国連危険物分類 Class or Division / 8 - IARC 発がん性評価ランク 2B (Vol. 106 ; 2014) - EPA (1999) Likely to be carcinogenic to humans
英名	Dichloroacetic acid				
化学式	C ₂ H ₂ Cl ₂ O ₂				
CAS No.	79-43-6				
物理化学的性質	形状 液体 色 無色 臭い 刺激臭 pH データなし 融点 13.5℃ 沸点 194℃ 蒸気圧 19Pa （以上モデル SDS）				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考	
- 合成中間体（モデル SDS） - 有機合成原料，医薬原料（化学工業日報社）		データなし	- 変異原性試験結果 - 微生物を用いる変異原性[データなし] - 染色体[陽]	P R T R 法 - 第 2 種指定化学物質（政令番号 2- 25） - ジクロロ酢酸 大気汚染防止法 - 有害大気汚染物質（中環審第 9 次答申の 7 8） 毒物及び劇物取締法 - 法律・劇物（法律別表第 2 の 2 8） 船舶安全法 - 腐食性物質 クラス 8 容器等級 II 航空法 - 腐食性物質 クラス 8 ラベル Q 容器等級 2	

(31) アスファルト

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）	その他の有害性情報等
和名【別名】	アスファルト	TLV-TWA（※） 0.5mg/m ³ (D)【A4;BEI _P 】 ACGIH / 1999 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ アスファルト(石油) ヒューム（ベンゼン抽出または同等の方法で分析されるエアロゾルとして）	データなし（モデル SDS 未作成）	- 国連危険物分類 Class or Division / 3 - IARC 発がん性評価ランク 2B (Vol. 103 ; 2013) - OECD：高生産量化学物質 (HPV)
英名	Asphalt		以下参考情報（国際化学物質安全性カードより）	
化学式	Unspecified		暴露の経路: 体内への吸収経路：フュームの吸入。	
CAS No.	8052-42-4		吸入の危険性: 20℃ではほとんど気化しない。しかし、拡散あるいは加熱すると浮遊粒子が急速に有害濃度に達することがある。	
物理化学的性質	形状 固体 色 暗褐色あるいは黒色 臭い データなし pH データなし 融点 54～173℃ 沸点 >300℃ 蒸気圧 データなし （以上国際化学物質安全性カード）		短期暴露の影響: 眼、気道を刺激する。 加熱すると皮膚熱傷を引き起こす 長期または反復暴露の影響: この物質のフュームは人に対して発がん性を示す可能性がある。 GHS 分類（包装・表示） データなし	
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考
・ 道路舗装材料, ゴム練込み用材料, 印刷インキ・塗料・建材・鋳物砂型・舗装材料・防水材料・電気絶縁材料原料, 農薬（失効農薬）（化学工業日報社）		米地質調査所 / 2013 年 53,000【千t】（生産量）（※） ※ ただし「セメント」について http://minerals.usgs.gov/minerals/pubs/commodity/talc/mcs-2014-talc.pdf		労規則別表 1 の 2【職業病リスト】（7 号 20） ・ （・・略・・）アスファルト（・・略・・）にさらされる業務による皮膚がん

(32) N-ビニル-2-ピロリドン

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	N-ビニル-2-ピロリドン	TLV-TWA 0.05ppm【A3】 ACGIH / 2000 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入：ミスト) 眼に対する重篤な損傷・眼刺激 急性 発がん性 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） 特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） (以上モデル SDS)	区分 4 区分 3 区分 4 区分 1 区分 2 区分 1（中枢神経系） 区分 1（気道 肝臓 血液）	- IARC 発がん性評価ランク 3 (Vol. 19 ; 1999) - E U 発がん性評価ランク / 2 - OECD : 高生産量化学物質 (HPV)
英名	N-Vinyl-2-pyrrolidone				
化学式	C ₆ H ₉ NO				
CAS No.	88-12-0				
物理化学的性質	形状 液体 色 clear to light straw colored 臭い データなし pH データなし 融点 13.5℃ 沸点 193℃ 蒸気圧 0.11mmHg (以上モデル SDS)				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等		備考
- 紫外線硬化樹脂反応溶媒、中間物、接着剤、希釈剤、添加剤（モデル SDS） - 結合剤，反応性希釈剤，ポリマー原料（医薬，化粧品，工業用）（化学工業日報社）		データなし			化審法 （旧）第 2 種監視化学物質（通し番号 1093） P R T R 法 - 第 1 種指定化学物質（政令番号 1-339） - N-ビニル-2-ピロリドン 大気汚染防止法 - 有害大気汚染物質（中環審第 9 次答申の 1 7 5）

(33) ポリ塩化ビニル

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）	その他の有害性情報等
和名【別名】	クロロエテン重合物【ポリ塩化ビニル又は PVC】	TLV-TWA 1mg/m ³ (R) 【A4】 ACGIH / 2007 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	データなし（モデル SDS 未作成）	- IARC 発がん性評価ランク 3（Vol. 19；1987） - OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	Polymer of chloroethene 【Polyvinyl chloride、PVC】		以下参考情報（国際化学物質安全性カードより）	
化学式	(C ₂ H ₃ Cl) _x		暴露の経路: データなし 吸入の危険性: とくに粉末の場合、拡散すると浮遊粒子が急速に有害濃度に達することがある。 短期暴露の影響: データなし 長期または反復暴露の影響: 反復または長期の粉塵粒子暴露により肺が冒され、線維症（塵肺）を生じることがある。 GHS 分類（包装・表示） データなし	
CAS No.	9002-86-2			
物理化学的性質	形状 粉末、ペレット 色 白色 臭い データなし pH データなし 融点 データなし 沸点 データなし 蒸気圧 データなし （以上国際化学物質安全性カード）			
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考
・ フィルム・シート，レザー，電線被覆，硬質管，一般塗料ベース，船底塗料ベース，紙のつや出し，接着剤，防湿セロファン，衣料用，カーペット，漁網，ろ布（化学工業日報社）		化審法 / 2012 年度 90,000 - <100,000【t】		※ 平成 12 年 6 月 14 日衛化第 31 号「塩化ビニル製手袋の食品への使用について」によると、「平成 11 年度の厚生科学研究等により市販弁当にフタル酸 ジ（２－エチルヘキシル）（以下「DEHP」という。）が検出され，当該物質の弁当への移行の主たる原因が塩化ビニル（以下「PVC」という。）製手袋であることが判明した」とされている。 DEHP（CasNo.117-81-7）は通知対象物質である。

(34) 1-メチルナフタレン及び2-メチルナフタレン

ア 1-メチルナフタレン

化学物質の名称【CAS No.】等			TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	1 - メチルナフタレン		TLV-TWA 0.5ppm【Skin; A4】 ACGIH / 2006 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ 1・メチルナフタレン 及び 2・メチルナフタ レンとして	急性毒性(経口) 眼に対する重篤な損傷・眼刺 激性 特定標的臓器・全身毒性（単 回ばく露） 特定標的臓器・全身毒性（反 復ばく露） （以上モデル SDS）	区分 4 区分 2 区分 3（麻酔作用 気道刺激 性） 区分 2（肺）	
英名	1-Methyl naphthalene					
化学式	C ₁₁ H ₁₀					
CAS No.	90-12-0					
物理化学的 性質	形状 色 臭い pH 融点 沸点 蒸気圧	液体 無色 データなし データなし －22℃ 245℃ 7.2Pa (以上モデル SDS)				
用途			製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考	
・ ナフトエ酸原料，蛍光増白剤・界面活性剤 原料，農薬溶剤（モデル SDS）			化審法 / 2012 年度 4,000 - <5,000【t】		化審法 ・ （旧）第 3 種監視化学物質（通し番号 75） P R T R 法 ・ 第 1 種指定化学物質（政令番号 1-438） ・ メチルナフタレン 大気汚染防止法 ・ 有害大気汚染物質（中環審第 9 次答申の 2 3 5） 海洋汚染防止法 ・ 有害液体物質（X 類物質） ・ メチルナフタレン	

イ 2-メチルナフタレン

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	2-メチルナフタレン	TLV-TWA 0.5ppm【Skin: A4】 ACGIH / 2006 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし ※ 1-メチルナフタレン 及び 2-メチルナフタ レンとして	急性毒性(経口) 眼に対する重篤な損傷・眼刺 激性 特定標的臓器・全身毒性（単 回ばく露） 特定標的臓器・全身毒性（反 復ばく露） （以上モデル SDS）	区分 4 区分 2 区分 3（麻酔作用 気道 刺激性） 区分 2（肺）	・ E P A (1999) Data are inadequate for an assessment of human carcinogenic potential
英名	2-Methyl naphthalene				
化学式	C ₁₁ H ₁₀				
CAS No.	91-57-6				
物理化学的 性質	形状 固体 色 データなし 臭い データなし pH データなし 融点 35℃ 沸点 241℃ 蒸気圧 9Pa （以上モデル SDS）				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等		備考
・ ビタミンK 3 用原料，β - ナフトエ酸原料 （化学工業日報社）		化審法 / 2012 年度 4,000・<5,000【t】			P R T R 法 ・ 第 1 種指定化学物質（政令番号 1-438） ・ メチルナフタレン 大気汚染防止法 ・ 有害大気汚染物質（中環審第 9 次答申の 2 3 6） 海洋汚染防止法 ・ 有害液体物質（X 類物質） ・ メチルナフタレン

(35) t -アミルメチルエーテル

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）	その他の有害性情報等
和名【別名】	t -アミルメチルエーテル 【TAME 又は 2-メチル-2-メトキシブタン】	TLV-TWA 20ppm ACGIH / 1999 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	データなし（モデル SDS 未作成）	- 国連危険物分類 Class or Division / 3 - OECD：高生産量化学物質（HPV）
英名	tert -Amyl methyl ether 【TAME】		以下参考情報（国際化学物質安全性カードより）	
化学式	C ₆ H ₁₄ O		暴露の経路: 体内への吸収経路：吸入、経口摂取 吸入の危険性: 20℃で気化したとき、空気中で有害濃度に達する速度は不明である。	
CAS No.	994-05-8		短期暴露の影響: この液体を飲み込むと、肺に吸い込んで化学性肺炎を起こす危険がある。高濃度の場合、意識低下を引き起こすことがある。	
物理化学的性質	形状 液体 色 無色 臭い データなし pH データなし 融点 -80℃ 沸点 86.3℃ 蒸気圧 9 kPa （以上国際化学物質安全性カード）		長期または反復暴露の影響: この液体は皮膚の脱脂を起こす。 GHS 分類（包装・表示） データなし	
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考
・ 溶剤（NITE 調査）		データなし	・ 危険物・引火性の物	

(36) 2-メチル-5-ニトロアニリン

化学物質の名称【CAS No.】等		TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）		その他の有害性情報等
和名【別名】	2-メチル-5-ニトロアニリン 【5-ニトロ- <i>o</i> -トルイジン】	TLV-TWA 1mg/m ³ ^① 【A3】 ACGIH / 2006 / 正式値 許容濃度（産衛学会） なし	発がん性 特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） （以上モデル SDS）	区分 2 区分 1（肝臓）	・ 国連危険物分類 Class or Division / 6.1 ・ IARC 発がん性評価ランク 3 (Vol. 48；1990) ・ E U 発がん性評価ランク 2
英名	2-Methyl-5-nitroaniline 【5-Nitro- <i>o</i> -toluidine】				
化学式	C ₇ H ₈ N ₂ O ₂				
CAS No.	99-55-8				
物理化学的性質	形状 固体 色 黄色 臭い データなし pH データなし 融点 107℃ 沸点 データなし 蒸気圧（以下原文のママ） 9.75E－004mmHg （以上モデル SDS）				
用途		製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考	
・ 染料中間体（モデル SDS） ・ 染料・顔料中間体（化学工業日報社）		化審法 / 2012 年度 ＜1,000【t】		P R T R 法 ・ 第 2 種指定化学物質（政令番号 2- 92） ・ ニーメチルー五ーニトロアニリン ※ 日本繊維産業連盟が平成 2 1 年 1 2 月 2 2 日に策定した「繊維製品に係る有害物質の不使用に関する自主基準」の対象物質である。これによると、繊維製品から 3 0 mg/kg を超えて検出される場合は使用しないこととされている。	

(37) 綿じん（未処理原綿）

化学物質の名称【CAS No.】等			TLV-TWA／許容濃度	GHS 分類（健康に対する有害性）	その他の有害性情報等
和名【別名】	綿じん（未処理原綿）		TLV-TWA 0.1mg/m ³ ⁽⁷⁾ 【A4】 ACGIH / 2009 / 正式値 許容濃度（※） 1 mg/m ³ （吸入性粉じん） 4 mg/m ³ （総粉じん） 産衛学会 / 2004 ※ 綿塵として	データなし（モデル SDS 未作成）	
英名	Cotton dust, raw, untreated			以下参考情報	
化学式	データなし			国際化学物質安全性カード：データなし R-phrases・S-phrases　：データなし	
CAS No.	データなし			※ 綿肺症等の有機繊維じんによる呼吸器影響については労働基準法施行規則別表第1の2第4号6に「落綿等の粉じんを飛散する場所における業務による呼吸器疾患」として規定されている。 ※ 日本労働年鑑（第 56 集 1986 年版（法政大学大原社会問題研究所））によると、1984 年 10 月に開催されたILO本部第11回繊維委員会において、「安全衛生関係では、とくに綿肺症、騒音、事故の防止が緊急課題としてとりあげられた。そして、綿肺症防止にかんする研究と対策の推進、騒音にかんする国際基準の確立、教育訓練と連続長時間労働の排除による事故防止などが強調された」とされている。	
物理化学的性質	形状	データなし			
	色	データなし			
	臭い	データなし			
	pH	データなし			
	融点	データなし			
	沸点	データなし			
	蒸気圧	データなし			
用途	製造・輸入量	安衛法等の規制等	備考		
・ 衣料、寝具、医療品等の原料	データなし		・ 「労働基準法施行規則第35条専門検討会 化学物質による疾病に関する分科会 検討結果報告書」（平成25年3月）の文献リサーチの項に以下の文献が示されている。（タイトル、出典を省略した） ・ 綿労働者（イタリア／平均ばく露期間 30.2年±11.9年）で慢性閉塞性肺疾患（OR 7.2, 95% CI 1.3–41.1）（Mastrangelo, Tartari, Fedeli, Fadda, & Saia, 2003） ・ 綿織物労働 2,168 人（イギリス／ばく露量等のデータなし）で慢性気管支炎の増加（OR 2.51 , 95% CI 1.3- 4.9）、症状はばく露期間・量とともに悪化（Niven et al., 1997） ・ 織物労働者 267,400 人（中国／11 年間追跡調査）の中で、綿と絹の労働者が有意に閉塞性肺疾患の死亡率が高い（Cui et al., 2011） ・ 綿労働者 429 人（中国／15 年間追跡調査）において、慢性気管支炎は絹労働者より綿労働者に多い（Wang et al., 2003） ・ 綿織物労働者 289 人（中国／ばく露期間 10 年～20 年）で慢性の肺機能低下、慢性気管支炎（Liu,1987） ※ OR : Odds Ratio（オッズ比） CI : Confidence Interval（信頼区間）		

2 参考情報

(1) ACGIH TLV-TWA 注釈

	記号の説明
A	発がん性物質
C	上限値
(D)	単純性窒息ガス
(E)	遊離けい酸含有率が1%未満で石綿を含まない粒子状物質の濃度
(F)	吸入性ファイバー：メンブランフィルターで捕集し、400～450倍（対物4mm）の位相差顕微鏡で観察した5μm以上でアスペクト比3：1の吸入性繊維
(G)	綿じんサンプラーで捕集した値
(H)	エアロゾルのみ
(I)	インハラブル（吸引性）粒子
(IFV)	インハラブル（吸引性）粒子および蒸気
(J)	有害金属のステアリン酸塩を除く
(K)	2mg/m ³ の吸入性粒子を超えてはならない
(L)	あらゆるルートのためばく露を可能なかぎり低レベルに抑えるような管理が必要である
(M)	強酸ミストに含まれる硫酸
(O)	蒸気を捕集しないようなサンプリング法
(P)	エアロゾルに対するばく露が無視できるような条件に限って適用できる

(R)	レスピラブル（吸入性）粒子
(T)	ソラシック（咽頭通過性）粒子
(V)	蒸気およびエアロゾルを含む
B	バックグラウンド
BEI	BEI が勧告されている物質
BEI _A	アセチルコリンエステラーゼインヒビターである有機りん系農薬の BEI 参照
BEI _M	メトヘモグロビンインジューサーの BEI 参照
BEI _P	多環式芳香族炭化水素の BEI 参照
DSEN	皮膚感作
MW	分子量
NOS	それ以上分類できない物質
N _p	非定量的
N _s	特異性なし
RSEN	呼吸器感作
SEN	感作性物質
Skin	皮膚への侵入がある物質
Sp	半定量的
STEL	短時間ばく露限界
TWA	8時間時間加重平均

(2) 各機関の発がん評価等の区分

1 IARC (国際がん研究機関)

- 1 : ヒトに対する発がん性が認められる (carcinogenic to human)
- 2A : ヒトに対する発がん性がおそらくある (probably carcinogenic to humans)
- 2B : ヒトに対する発がん性が疑われる (possibly carcinogenic to humans)
- 3 : ヒトに対する発がん性がおそらくない (probably not carcinogenic to humans)

2 日本産業衛生学会

- 1 : 人間に対して発がん性があると判断できる物質
- 2 : 人間に対しておそらく発がん性があると判断できる物質
- 2A : 証拠が比較的十分
- 2B : 証拠が比較的十分でない

3 ACGIH (米国労働衛生専門家会議)

- A1 : 確認されたヒト発がん性因子
- A2 : 疑わしいヒト発がん性因子
- A3 : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
- A4 : ヒト発がん性因子として分類できない
- A5 : ヒト発がん性因子として疑えない

4 NTP (米国国家毒性プログラム)

- K : ヒト発がん性因子であることが知られている (Known to be a human carcinogen)
- R : 合理的にヒト発がん性因子であることが予測される (Reasonably anticipated to be a human carcinogen)

5 EU (REACH)

(発がん性)

- Category 1 : ヒトへの発がん性が知られている物質
- Category 2 : ヒトへの発がん性があるとみなされるべき物質で、十分なデータがある
- Category 3 : ヒトへの発がん性の懸念がある物質であるが、データが十分ではない

(生殖毒性)

- Category 1 : ヒトへの生殖能力を損なうことが知られている物質
- Category 2 : ヒトへの生殖能力を損なうことがあるとみなされるべき物質で、十分なデータがある
- Category 3 : ヒトへの生殖能力を損なうことの懸念がある物質であるが、データが十分ではない

6 EPA (アメリカ環境保護庁) (2005 年ガイドライン (記述式))

- ・ ヒトに発がん性 (Carcinogenic to Humans)
- ・ ヒトに発がん性があるらしい (Likely to be Carcinogenic to Humans)
- ・ 発がん性能力の暗示的な証拠がある (Suggestive Evidence of Carcinogenic Potential)
- ・ ヒト発がん性能力の評価にはデータが不適切 (Data are Inadequate for an Assessment of Human Carcinogenic Potential)
- ・ ヒトへの発がん性はなさそう (Not Likely to be Carcinogenic to Humans)

(3) 国連番号のクラス一覧 | 等級一覧

国連番号のクラス一覧 等級一覧			
クラス 等級	内 容	区分	詳 細
クラス 1	火薬類	1.1	大量爆発（ほぼ瞬間的にほとんど全ての貨物に影響が及ぶ爆発）の危険性がある物質及び火工品
		1.2	大量爆発の危険性がなく、かつ、飛散の危険性がある物質及び火工品
		1.3	大量爆発の危険性はないが、火災の危険性があり、かつ、弱い爆風の危険性若しくは弱い飛散の危険性又はその両方の危険性のある物質及び火工品（大量の輻射熱を放出するもの及び弱い爆風の危険性若しくは弱い飛散の危険性又はその両方を発生しながら次から次へと燃焼が継続するものを含む。）
		1.4	高い危険性が認められない物質又は火工品（点火又は起爆が起きた場合にその影響が容器内に限られ、かつ、大きな破片が飛散しないものを含む。）
		1.5	大量爆発の危険性はあるが、非常に鈍感な物質
		1.6	大量爆発の危険性がなく、かつ、極めて鈍感な火工品

クラス 2	高压ガス	2.1	引火性高压ガス
		2.2	非引火性非毒性高压ガス
		2.3	毒性高压ガス
クラス 3	引火性液体類	3	引火性液体類。引火性を有する。
クラス 4	可燃性物質類	4.1	可燃性物質。可燃性を有する。
		4.2	自然発火性物質。自然発火性を有する。
		4.3	水反応可燃性物質。水反応可燃性を有する。
クラス 5	酸化性物質類	5.1	酸化性物質。酸化性を有する。
		5.2	有機過酸化物。有機過酸化物としての危険性を有する。
クラス 6	毒物類	6.1	毒物。人体に対する毒性を有する。
		6.2	病毒をうつしやすい物質。
クラス 7	放射性物質	7	放射性物質等
クラス 8	腐食性物質	8	腐食性物質
クラス 9	その他の有害性物質	9	その他の有害性物質

以下の URL より引用した。
http://www.un-no-un-number.com/un_no/un_class.html

(4) R-phrases

※ 訳文は、基本的に厚生労働省「MSDS（化学物質安全性データシート）用語集」（１９９５年化学工業日報社）を使用した。R40の組合せを削除した。また、(※)の記号のあるものは化学物質対策課において、他の項目の訳文を参考にして訳したものである。

付属書Ⅲ 危険な物質に付随するリスクの種類

R1	乾燥時は爆発性がある。
R2	衝撃、摩擦、火気あるいはその他の発火源により爆発するリスクがある。
R3	衝撃、摩擦、火気あるいはその他の発火源により爆発するリスクがきわめて高い。
R4	非常に感度の高い爆発性金属化合物を生成する。
R5	加熱すると爆発することがある。
R6	空気との接触の有無にかかわらず爆発性がある。
R7	火災を起こすことがある。
R8	可燃性物質と接触すると火災を起こすことがある。
R9	可燃性物質と混合すると爆発性となる。
R10	引火性である。
R11	引火性が高い。
R12	引火性がきわめて高い。
R14	水と激しく反応する

R15	水と接触すると引火性がきわめて高いガスを放出する。
R16	酸化性物質と混合すると爆発性となる。
R17	空気中で自然発火する。
R18	使用中に引火性／爆発性の蒸気－空気混合物を生成することがある。
R19	爆発性過酸化物を生成することがある。
R20	吸入すると有害である。
R21	皮膚に接触すると有害である。
R22	飲み込むと有害である。
R23	吸入すると有毒である。
R24	皮膚に接触すると有毒である。
R25	飲み込むと有毒である。
R26	吸入すると非常に有毒である。
R27	皮膚に接触すると非常に有毒である。
R28	飲み込むと非常に有毒である。
R29	水と接触すると有毒ガスを放出する。
R30	取扱中に引火性が高くなることがある。
R31	酸と接触すると有毒ガスを放出する。
R32	酸と接触すると非常に有毒なガスを放出する。
R33	蓄積性影響の危険がある。
R34	火傷を引き起こす。
R35	重度の火傷を引き起こす。
R36	眼を刺激する。
R37	呼吸器系を刺激する。

R38	皮膚を刺激する。
R39	非常に重大な不可逆的影響の危険がある。
R40	Limited evidence of a carcinogenic effect 発がん性の限られた証拠がある。(※)
R41	眼に重度の障害を与えるリスクがある。
R42	吸入により感作を引き起こすことがある。
R43	皮膚接触により感作を引き起こすことがある。
R44	密閉状態で加熱すると爆発するリスクがある。
R45	がんを引き起こすことがある。
R46	遺伝性の遺伝子損傷を引き起こすことがある。
R48	長期暴露により重度の健康障害を生じる危険がある。
R49	吸入によりがんを引き起こすことがある。
R50	水生生物に対して非常に有毒である。
R51	水生生物に対して有毒である。
R52	水生生物に対して有害である。
R53	水生環境中で長期にわたり悪影響を及ぼすことがある。
R54	植物相に対して有毒である。
R55	動物相に対して有毒である。
R56	土壌生物に対して有毒である。
R57	ミツバチに対して有毒である。
R58	環境中で長期にわたり悪影響を及ぼすことがある。
R59	オゾン層に対して危険である。
R60	生殖機能を損なうことがある。
R61	胎児に害を及ぼすことがある。

R62	生殖機能を損なうリスクの可能性がある。
R63	胎児に害を及ぼすリスクの可能性がある。
R64	母乳栄養児に害を及ぼすことがある。
R65	Harmful: may cause lung damage if swallowed 有害性：飲み込むと肺が損傷を受けることがある。(※)
R66	Repeated exposure may cause skin dryness or cracking 繰り返し被ばくすると、皮膚乾燥またはひび割れを引き起こすことがある。(※)
R67	Vapours may cause drowsiness and dizziness 蒸気が、眠気およびめまいを引き起こすことがある。(※)
R68	Possible risk of irreversible effects 不可逆的影響を及ぼすリスクの可能性がある。(※)

R フレーズの組合せ

R14/15	水と激しく反応し、引火性がきわめて高いガスを放出する。
R15/29	水と接触すると有毒で引火性がきわめて高いガスを放出する。
R20/21	吸入したときおよび皮膚に接触したとき有害である。
R20/22	吸入したときおよび飲み込んだとき有害である。
R20/21/22	吸入したとき、皮膚に接触したときおよび飲み込んだとき有害である。

R21/22	皮膚に接触したときおよび飲み込んだとき有害である。
R23/24	吸入したときおよび皮膚に接触したとき有毒である。
R23/25	吸入したときおよび飲み込んだとき有毒である。
R23/24/25	吸入したとき、皮膚に接触したときおよび飲み込んだとき有毒である。
R24/25	皮膚に接触したときおよび飲み込んだとき有毒である。
R26/27	吸入したときおよび皮膚に接触したとき有毒である。
R26/28	吸入したときおよび飲み込んだとき有毒である。
R26/27/28	吸入したとき、皮膚に接触したときおよび飲み込んだとき非常に有毒である。
R27/28	皮膚に接触したときおよび飲み込んだとき非常に有毒である。
R36/37	眼および呼吸器系を刺激する。
R36/38	眼および皮膚を刺激する。
R36/37/38	眼、呼吸器系および皮膚を刺激する。
R37/38	呼吸器系および皮膚を刺激する。
R39/23	有毒：吸入すると非常に重大な不可逆的影響を及ぼす危険がある。
R39/24	有毒：皮膚に接触すると非常に重大な不可逆的影響を及ぼす危険がある。

R39/25	有毒：飲み込むと非常に重大な不可逆的影響を及ぼす危険がある。
R39/23/24	有毒：吸入したときおよび皮膚に接触したとき非常に重大な不可逆的影響を及ぼす危険がある。
R39/23/25	有毒：吸入したときおよび飲み込んだとき非常に重大な不可逆的影響を及ぼす危険がある。
R39/24/25	有毒：皮膚に接触したときおよび飲み込んだとき非常に重大な不可逆的影響を及ぼす危険がある。
R39/23/24/25	有毒：吸入したとき、皮膚に接触したときおよび飲み込んだとき非常に重大な不可逆的影響を及ぼす危険がある。
R39/26	非常に有毒：吸入すると非常に重大な不可逆的影響を及ぼす危険がある。
R39/27	非常に有毒：皮膚に接触すると非常に重大な不可逆的影響を及ぼす危険がある。
R39/28	非常に有毒：飲み込むと非常に重大な不可逆的影響を及ぼす危険がある。
R39/26/27	非常に有毒：吸入したときおよび皮膚に接触したとき非常に重大な不可逆的影響を及ぼす危険がある。
R39/26/28	非常に有毒：吸入したときおよび飲み込んだとき非常に重大な不可逆的影響を及ぼす危険がある。
R39/27/28	非常に有毒：皮膚に接触したときおよび飲み込んだとき非常に重大な不可逆的影響を及ぼす危険がある。

	険がある。
R39/26/27/28	非常に有毒：吸入したとき、皮膚に接触したときおよび飲み込んだとき非常に重大な不可逆的影響を及ぼす危険がある。
R42/43	吸入および皮膚接触により感作を引き起こすことがある。
R48/20	有害：吸入による長期暴露により重度の健康障害を生じる危険がある。
R48/21	有害：皮膚接触による長期暴露により重度の健康障害を生じる危険がある。
R48/22	有害：飲み込むことによる長期暴露により重度の健康障害を生じる危険がある。
R48/20/21	有害：吸入および皮膚接触による長期暴露により重度の健康障害を生じる危険がある。
R48/20/22	有害：吸入および飲み込むことによる長期暴露により重度の健康障害を生じる危険がある。
R48/21/22	有害：皮膚接触および飲み込むことによる長期暴露により重度の健康障害を生じる危険がある。
R48/20/21/22	有害：吸入、皮膚接触および飲み込むことによる長期暴露により重度の健康障害を生じる危険がある。
R48/23	有毒：吸入による長期暴露により重度の健康障害を生じる危険がある。
R48/24	有毒：皮膚接触による長期暴露により重度の健康障害を生じる危険がある。
R48/25	有毒：飲み込むことによる長期暴露により重度

	の健康障害を生じる危険がある。
R48/23/24	有毒：吸入および皮膚接触による長期暴露により重度の健康障害を生じる危険がある。
R48/23/25	有毒：吸入および飲み込むことによる長期暴露により重度の健康障害を生じる危険がある。
R48/24/25	有毒：皮膚接触および飲み込むことによる長期暴露により重度の健康障害を生じる危険がある。
R48/23/24/25	有毒：吸入、皮膚接触および飲み込むことによる長期暴露により重度の健康障害を生じる危険がある。
R50/53	水生生物に対して非常に有毒であり、水生環境中で長期にわたり悪影響を及ぼすことがある。
R51/53	水生生物に対して有毒であり、水生環境中で長期にわたり悪影響を及ぼすことがある。
R52/53	水生生物に対して有害であり、水生環境中で長期にわたり悪影響を及ぼすことがある。
R68/20	Harmful : possible risk of irreversible effects through inhalation 有害：吸入により不可逆的影響を及ぼすリスクの可能性ある。(※)
R68/21	Harmful : possible risk of irreversible effects in contact with skin 有害：皮膚接触により不可逆的影響を及ぼすリスクの可能性ある。(※)

R68/22	Harmful : possible risk of irreversible effects if swallowed 有害：飲み込むことにより不可逆的影響を及ぼすリスクの可能性ある。(※)
R68/20/21	Harmful : possible risk of irreversible effects through inhalation and in contact with skin 有害：吸入および皮膚接触により不可逆的影響を及ぼすリスクの可能性ある。(※)
R68/20/22	Harmful : possible risk of irreversible effects through inhalation and if swallowed 有害：吸入および飲み込むことにより不可逆的影響を及ぼすリスクの可能性ある。(※)
R68/21/22	Harmful : possible risk of irreversible effects in contact with skin and if swallowed 有害：皮膚接触および飲み込むことにより不可逆的影響を及ぼすリスクの可能性ある。(※)
R68/20/21/22	Harmful : possible risk of irreversible effects through inhalation, in contact with skin and if swallowed 有害：吸入、皮膚接触および飲み込むことにより不可逆的影響を及ぼすリスクの可能性ある。(※)

(5) S-phrases

※ 訳文は、基本的に厚生労働省「MSDS（化学物質安全性データシート）用語集」（1995年化学工業日報社）を使用した。S44については削除した。また、(※)の記号のあるものは化学物質対策課において他の項目の訳文を参考にして訳したものである。

付属書Ⅳ 危険な化学物質に関する安全性勧告

S1	錠をかけて保管する。
S2	子供の手の届かない場所に保管する。
S3	冷所に保管する。
S4	生活区域から離れた場所に保管する。
S5	内容物を．．．（製造業者が指定する適切な液体）中で保管する。
S6	．．．（製造業者が指定する不活性ガス）下で保管する。
S7	容器を密閉して保管する。
S8	容器を乾燥した状態で保管する。
S9	容器を換気のよい場所に保管する。
S12	容器を密封して保管してはならない。
S13	飲食物、動物用飼料から離して保管する。
S14	．．．（製造業者が指定する混触危険物質）から離して保管する。
S15	熱源から離して保管する。

S16	発火源から離して保管するー禁煙。
S17	可燃物から離して保管する
S18	容器の取扱いおよび開封の際は注意する。
S20	取扱注は飲食禁止。
S21	取扱注は禁煙
S22	粉塵を吸入してはならない。
S23	ガス／フューム／蒸気／スプレー（製造業者が指定する語句）を吸入してはならない。
S24	皮膚に触れないようにする。
S25	眼に入らないようにする。
S26	眼に入った場合、直ちに多量の水で洗い流し医師の診察を受ける。
S27	汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。
S28	皮膚に触れたら、直ちに多量の．．．（製造業者が指定するもの）で洗う。
S29	排水路に流してはならない。
S30	この製品に水を加えてはならない。
S33	静電気に対する予防措置を講ずる。
S35	この物質および容器は安全な方法で廃棄する。
S36	適切な保護衣を着用する。
S37	適切な手袋を着用する。
S38	換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。
S39	眼／顔面用保護具を着用する。
S40	床およびこの物質で汚染されたものすべてを清掃するときは、．．．（製造業者が指定するもの）を使用する。

S41	火災や爆発の場合、フュームを吸入してはならない。
S42	燻蒸／噴霧中は適切な呼吸用保護具（製造業者が指定する語句）を着用する。
S43	火災の場合は、．．．を使用する。（．．．に消火剤の正確な型を指示する。水がリスクを増大させる場合は「水を使用してはならない」と付記する。）
S45	事故が起きたときあるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察を受ける（できればラベルを見せる）。
S46	飲み込んだ場合、直ちに医師の診察を受け、医師にその容器またはラベルを見せる。
S47	．．．℃（製造業者が指定する温度）以下で保管する。
S48	．．．（製造業者が指定する適切な物質）で湿潤状態にして保管する。
S49	最初の容器中でのみ保管する（容器を移し替えてはならない）
S50	．．．（製造業者が指定するもの）と混合してはならない。
S51	換気のよい場所でのみ取り扱う
S52	表面積の大きい状態での屋内での使用は避ける。
S53	暴露を避ける。取り扱う前に特別の指示を受ける。
S56	この物質および容器は有害廃棄物もしくは特別な廃棄物の収集場所に廃棄すること。
S57	環境汚染を避けるために、適切な容器を使用すること。
S59	回収／再生利用に関する情報は製造業者／供給業者に問い合わせる。
S60	この物質や容器は有害廃棄物として処理すること

S61	環境中への放出を避ける。特別な指示／安全性データシートを参照する。
S62	飲み込んだ場合は吐かせてはならない。直ちに医師の診察を受け、医師にその容器またはラベルを見せる。
S63	In case of accident by inhalation: remove casualty to fresh air and keep at rest 吸入事故の場合：被災者を新鮮な空気のところへ移し、安静にする。（※）
S64	If swallowed, rinse mouth with water (only if the person is conscious) 飲み込んだ場合は、口を水で洗う（被災者に意識がある場合のみ）（※）

Sフレーズの組合せ

S1/2	鍵をかけ子供の手の届かない場所に保管する。
S3/7	容器を密閉して冷所に保管する。
S3/7/9	Keep container tightly closed in a cool, well-ventilated place 容器を密閉し、換気のよい冷所に保管する。
S3/9/14	．．．（製造業者が指示する混触危険物質）から離して、換気のよい冷所に保管する。
S3/9/14/49	．．．（製造業者が指示する混触危険物質）から離して、換気のよい冷所に最初の容器中でのみ保管する。（容器を移し替えてはならない）
S3/9/49	換気のよい冷所に、最初の容器中でのみ保管する。（容器を移し替えてはならない）

S3/14	．．．（製造業者が指示する混触危険物質）から離して、冷所に保管する。
S7/8	容器を密閉し、乾燥した状態で保管する。
S7/9	容器を密閉し、換気のよい場所に保管する。
S7/47	容器を密閉し、．．．℃（製造業者が指定する温度）以下で保管する。
S20/21	取扱中は飲食禁止および禁煙。
S24/25	皮膚および眼との接触を避ける。
S27/28	After contact with skin, take off immediately all contaminated clothing, and wash immediately with plenty of ... <i>(to be specified by the manufacturer)</i> 皮膚に触れたら、汚染された衣類すべてを直ちに脱ぎ、直ちに多量の．．．（製造業者が指定するもの）で洗う。（※）
S29/35	Do not empty into drains; dispose of this material and its container in a safe way 排水路に流してはならない。この物質および容器は安全な方法で廃棄する。（※）
S29/56	排水路に流してはならない。この物質および容器は有害廃棄物もしくは特別な廃棄物の収集場所に廃棄すること。
S36/37	適切な保護衣および手袋を着用する。
S36/37/39	適切な保護衣、手袋および眼／顔面用保護具を着用する。
S36/39	適切な保護衣および眼／顔面用保護具を着用する。

S37/39	適切な手袋および眼／顔面用保護具を着用する。
S47/49	．．．℃（製造業者が指定する温度）以下で、最初の容器中でのみ保管する（容器を移し替えてはならない）